

会長のページ 働き方改革	河野 雅行	3
日州医談 地域医療構想における在宅医療	石川 智信	4
エコー・リレー (526)	渡邊 龍志, 永井 崇敬	6
メディアの目 お医者任せにしない	上野 敏彦	12
宮崎大学医学部だより (病態解析医学講座 放射線医学分野)	平井 俊範	13
部会だより (労災部会)	田中 俊正	14
診療メモ トラベルクリニックの世界	岩崎 直哉	58
宮大医学部学生のページ		
令和元年度, 新入生歓迎委員よりご報告	佐圓 海渡	60

あなたできますか? (平成30年度医師国家試験問題より)		7
宮崎県感染症発生動向		8
各郡市医師会だより		10
宮崎県臨床研修医説明会・講演会/新研修医祝賀会		
～All Miyazaki 研修医スタートアップセミナー&ウェルカムパーティ～		16
日医インターネットニュースから		18
医師国保組合だより		20
理事会日誌		22
県医の動き		27
会員の異動・変更報告		28
追悼のことば		36
ドクターバンク情報		39
行事予定		45
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会		47
ベストセラー		57
あとがき		64

お知らせ 「はまゆう随筆」原稿募集		15
第20回宮崎県医師会医家芸術展		35
宮崎県医療勤務環境改善支援センター		38
日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています		43
クールビズについて		57
郡市医師会への送付文書		62

医師の心得

1. 私たちは、皆さまの健康状態をよくお聞きします。
2. 私たちは、皆さまに最善の医療を提供できるよう心がけます。
3. 私たちは、皆さまに医療内容をよく説明し、一緒に医療を行います。
4. 私たちは、皆さまの「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。
5. 私たちは、皆さまの健康維持と医療の質の向上に尽くします。

公益社団法人 宮崎県医師会

(平成14年3月12日制定)

〔表紙作品：写真〕

森のオアシス

札幌での学会に出席した時、時間を作り富良野に行きました。6月初めはまだラヴェンダーは早すぎました。

この時、名前もないため池に案内されました。水は乳白水でしたが、枯れ木に心とめました。

宮崎市 にしむらあつのり
西村篤乃

会長のページ

働き方改革

かわ の まさ ゆき
河 野 雅 行

先日、小川美也子社会保険労務士の講演会がありました。本年4月から実施された働き方改革法案によって今までの雇用関係を大きく見直す必要があります。大病院では既に対策を練られているようですが、小規模診療所で一人でも従業員がいれば同様の対応が求められます。

ポイントは幾つかあります。その主なものは次の3点です。

・労働時間の厳守：時間外労働の上限と制限 ・有給休暇の強制的な取得：事業主は有給休暇を5日以上取らせる義務 ・正規雇用と非正規雇用の格差是正（同一労働同一賃金） その他に、時間外労働後の

インターバル制度、産業医の機能強化、医師の面接指導の拡充等多くの事項があります。

一般職の時間外労働の上限（臨時的な特別の事情があつて労使が合意する場合）が720時間であり、医師は地域医療に支障をきたすとの理由で5年間の実施猶予期間はありますが1,860時間（地域医療確保暫定特例水準・集中的技能向上水準）と倍以上になります。地域医療に支障をきたすのが理由であるならば、地域医療を充実させる方が先決です。しかし、現在の地域医療対策では暫定特例水準が解消される2035年度末までの医師の労働環境に劇的な改善は困難であるように思われます。

職員の中でも有給休暇をしっかりと取る人とあまり取らない人がいます。取りやすい環境を整備するのは必要です。しかし、小規模診療所では人員にゆとりがなく、一人休めば直ちに業務に支障をきたします。補完するためにパートを採用したくとも、そうそう都合の良い人材の確保は困難です。現状に合った対応が必要と思われます。

同一拘束時間労働では同一の給与体系が求められています。仕事の効率に関わらず同一待遇では、能力のある人のモチベーションを下げ、能力発揮の芽を潰すことにならないでしょうか？スポーツや他の業界を例にとれば成績の如何により報酬も違うのは当然です。平等の理念は尊いものであつても仕事効率・成果までも平等に取り扱うには無理があるのではないのでしょうか。

定年後再雇用、男女機会均等、両立支援等々も整備され、こちらの方面からも働き方改革が進んでいます。働く意欲があり、働ける人が働くのは、時代の趨勢にも合い個人の希望にも合致していると思われます。しかし、その昔、壮丁のみでは人員不足となり老若男女を問わず根こそぎ招集した国家総動員法なるものがあつたと聞きますが、その影が一瞬連想されるのは偏り過ぎた考えでしょうか。

ある国では最低賃金の強引な値上げにより産業経済界に混乱をきたしている例もあります。我が国の現状においても改革すべき点は多々ありますが、整備不十分な社会基盤下での性急な改革は社会に混乱を招くのではないのでしょうか。過重労働による弊害是正は重要事項であつても、社会改革は慎重に実行していただきたいものです。

（令和元年5月16日）

日州医談



地域医療構想における在宅医療

常任理事 いし かわ とも のぶ
石 川 智 信

地域医療構想会議が各地で開始されている。現時点では入院機能を持つ医療機関の、地域における役割分担や機能分担が議論の中心である。その議論の最終的な着地点には、病床数の削減があるのではないかと憶測されているせいか、なかなかまとまりそうにないのが現状であろう。医療機関にとっては死活問題であり、地域の住民にとっては身近な医療環境が大きく変化する可能性がある。ここは、ことを急がず十分な議論を重ね、熟慮すべき段階だと思われる。

そんな中であって在宅医療に関する議論は、どの地域でもいまだなされていない。理由の一つには、医療機関側に熱く議論を戦わせるためのモチベーションがないことである。すなわち病床削減といった危機感を募らせる問題がない。しかしながら地域住民にとっては切実な問題をはらんでいる。まず通院が困難になった際に医療を受けられる環境が整備されているかどうかという問題である。また人生の最期を、自分の望む形で終えるための医療介護の連携システムが構築できているかどうかの問題がある。それは在宅医療を行う医療機関の整備という観点と、終の住処がどの程度地域に準備できるかという二つの観点からの議論が必要になる。しかしながら地域医療構想では、前者を議論することはあっても後者は議論の俎上には上がってこないことが予想される。しかし在宅医療は、医療介護の融合なくしては行えないものである。さらに言えば、急性期医療や回復期医療も、そこで完結するわけではなく、最後には在宅医療の現場が療養の場の主役になるわけである。居住系施設の現状の把握と将来の整備見通

しの調査を地域ごとに行い、地域医療構想会議で議論できる資料の作成が急務である。

一方医療提供側の資料としては、平成30年度に宮崎県と県医師会とが協力して、在宅療養支援診療所・在宅療養支援病院・在宅時医学総合管理料および施設入居時等医学総合管理料届出施設に行ったアンケート調査の結果がある（以下、在支診・在支病・在医総管と略す）。それにより現在の宮崎県における在宅医療の現況がおおよそ把握できるようになった。2025年度問題に向けて、それぞれの地域で在宅医療を議論するためには、さらに訪問看護ステーションの今後の整備状況の見通しや、施設などにおける看護体制の充実度の資料が必要であるが、まずは今回のアンケート調査の結果（表1）を分析して、宮崎県における在宅医療の今後を考えていきたい。

アンケートの回答率は70%弱と初回の調査にしては高かったと言える。そのため調査結果数を回答率で割り戻した数を全数推計として考えることが可能である。在支診・在支病・在医総管の人口10万人当たりの数を見ると、西諸地区が26.6と一番多く宮崎東諸県地区が次で、日向入郷地区が4.4と最も少ない。一方在宅医療に関わる常勤医師の数については、同じく人口10万人当たりで西都児湯地区が48.3人と一番で、日向入郷地区が最小の14.4人である。ちなみに絶対数が圧倒的に多い宮崎東諸県地区は4番目で34.3人であった。

平成30年8月の1か月間に訪問診療を受けた患者数は、全数推計で3,885人と圧倒的に宮崎東諸県地区が一番多い。最も少なかったのは

これも日向入郷地区で72名であった。また平成29年4月から平成30年3月までの1年間に在宅や施設で看取られた患者数は、全数推計で宮崎東諸県地区が757名と最大であり、最小数は西都児湯地区の33名であった。

またこの表にはないが、訪問診療が行われている場所は、自宅が10.7%と少なく、高齢者向けの居住施設が圧倒的に多いことが実証された。一方で看取りが行われた場所は、自宅が26.6%で高齢者向けの居住施設が60.9%、介護保険関連施設が12.5%であった。さらに1つの医療機関が1か月当たり訪問している患者数や、看取りの数についての資料もある。訪問患者数は強化型の在支診が112.0名と多く、通常の在支診は36.7名であった。さらに強化型(単独)の在支病で39.0名、通常の在支病では18.4名、在医総管で9.9名であった。看取り数については強化型の在支診が20.5名と多く、通常の在支診は6.9名であった。さらに強化型(単独)の在支病で18.3名、通常の在支病では5.4名、在医総管で1.7名であった。

さらに今後在宅医療を続けるかどうかについて

では、どの医療圏においても現状を維持すると回答した医療機関が5割から9割であったが、縮小もしくは撤退するところが1~2割あった。ただ一方で現在よりも積極的に取り組みたいとの回答も1~3割あり、在宅医療のキャパシティとしては現状から減ることはなさそうである。ただ今後人口減少が急速に進む多くの医療圏では、圏外への流出者も増えることが予想される。医療機関と居住系施設を街の中心に整備して効率よく医療が提供できるコンパクトシティの実現が必要になるかもしれない。当面は人口が維持される宮崎東諸県地区でもこれまでのように外来のみを行う医療体制では、経営的に厳しくなることが予想される。そしてそれが、在宅医療の担い手を増やす最大のモチベーションになるのかもしれない。

いずれにしても今回の結果については各郡市医師会にも通知済みである。地域医療構想会議において、この資料ができたことで在宅医療をどのように位置づけて整備していくのか、議論が始まることを期待したい。

表1 平成30年度 宮崎県における訪問診療調査統計

単位：件、%

医療圏	在支診・在支病・在医総管				医師(常勤換算)				訪問診療(1か月間)				看取り患者数(1年間)				R=Q/A	
	A	B	D-M/100,000人	D	E	F=E/R	G-F/100,000人	H	I	J=I/R	K-J/100,000人	L	M	N=J/R	O-M/100,000人	P		Q
	数	人口	圏内人口比率(対10万人)	順位	常勤換算	全数推計	圏内人口比率(対10万人)	順位	患者数	全数推計	圏内人口比率(対10万人)	順位	患者数	全数推計	圏内人口比率(対10万人)	順位	回答数	回答率
延岡 西臼杵	15	145,747	10.3	6	15.5	21.1	14.5	6	710	968	664.3	2	137	187	128.2	2	11	73.3%
日向入郷	4	89,971	4.4	7	9.7	12.9	14.4	7	54	72	80.0	7	31	41	45.9	5	3	75.0%
宮崎 東諸県	94	428,089	22.0	2	93.6	146.6	34.3	4	2,480	3,885	907.6	1	483	757	176.8	1	60	63.8%
西都児湯	13	101,901	12.8	4	30.3	49.2	48.3	1	151	245	240.8	5	20	33	31.9	7	8	61.5%
日南串間	14	72,869	19.2	3	27.2	29.3	40.2	3	83	89	122.7	6	56	60	82.8	4	13	92.9%
都城 北諸県	24	190,433	12.6	5	22.3	33.5	17.6	5	674	1,011	530.9	3	109	164	85.9	3	16	66.7%
西諸	20	75,059	26.6	1	23.2	35.7	47.6	2	157	242	321.8	4	18	28	36.9	6	13	65.0%
合計	184	1,104,069	16.7		221.8	328.4	29.7		4,309	6,513	589.9		854	1,269	114.9		124	67.4%

※人口：総務省「平成27年国勢調査」
 ※全数推計は、調査結果を回答率で全数に割り戻したもの

エコー・リレー

(526回)

(南から北へ北から南へ)

atraumaticな手術を意識して

宮崎市 宮崎大学医学部 渡 龍志
 研修医 わた なべ たつ し



2018年4月から宮崎大学医学部附属病院での初期研修が始まって1年が経ちました。昨年度は大学病院以外にも県立宮崎病院、県立日南病院、県立延岡病院で研修をさせていただき、今回、県立延岡病院で一緒に研修した縁で北國秀治君からバトンを託されました。

4月から僕は江南病院形成外科で研修をしております。形成外科は主に手足や顔面の外傷や先天性の異常、褥瘡や潰瘍、粉瘤やガングリオンといった皮下腫瘍など主に体表面の疾患を扱っており、研修期間中に初めて見る疾患や手術も多く、充実した日々を送っております。手術では実際に縫合をさせていただく機会も多いのですが、指導医の先生に「縫合の時はatraumaticを心がけてね」と言われることがしばしばあります。

形成外科の手術では術後の瘢痕が目立たないよう整容性に優れた結果を残すことも重視されており、縫合一つ取っても皮膚の持ち方、針の持ち方や動かし方、針の皮膚への刺入の向き、糸の結び方に至るまで一つひとつの動作に工夫があります。これらを総称してatraumatic（非侵襲的などという意味）と言います。これらの細かいポイントを意識しながら縫合するのは大変で、手術が終わった時へとへと疲れることもあります。しかし術後の包交や抜糸で自分が縫合した創部がどうなっているのか楽しみな時もあり、やり甲斐を感じることも多いです。

縫合は基本的な手技ですが、奥が深く面白いのです。これからもatraumaticを意識して頑張りたいと思う今日この頃です。

[次回は、延岡市の押川 初音先生にお願いします]

趣味から得る教訓

宮崎市 宮崎大学医学部 永 井 崇 敬
 泌尿器科 なが い たか ひろ

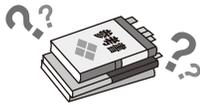


初めまして、私は現在、宮崎大学泌尿器科講座大学院で研究をさせていただいております。趣味の一つが麻雀なのですが、学生時代の友人たちが多忙化するにつれ卓を囲む機会が減って

きました。2018年10月1日に麻雀への認知の確立などを理念とし、オリンピックの正式種目化を目指して麻雀プロリーグ「Mリーグ」が開幕しました。これを機に競技人口が増え、新しい仲間ができることを期待しております。麻雀は4人（or3人）で行い、その回ごとに優勝を目指すことを基本とし、置かれた状況で2位・3位を許容したり、完全に守備に回ったり、判断力・論理的思考に加えて勝負勘をも鍛えることができる頭脳スポーツです。社会人として自身の置かれた状況や周囲の環境を冷静に判断し、論理的思考を加えて良い仕事をする必要があると必要であり多分に通ずるものがあると感じております。

先日、旧友と数年ぶりに麻雀をすることができ、楽しい時間を過ごさせていただきました。あつという間に時間が過ぎ、翌日は仕事がなく長時間遊びました。競技としても勝つことができ、満足して帰宅したところ「休みの日は子どもと遊びなさい」と、妻からかなりのお叱りを頂戴いたしました。自身の置かれた状況や周囲の環境を冷静に判断しないと痛い目に合うことを再認識させていただきました。この教訓を研究・臨床を含め今後の人生に役立てたいと思います。

[次回は、日向市の分田 裕順先生にお願いします]



あなたできますか？

—平成30年度 医師国家試験問題より—

(解答は26ページ)

- EGFR遺伝子変異陽性、遠隔転移を有する進行肺腺癌に対する初回治療で、分子標的薬（チロシンキナーゼ阻害薬）の副作用として頻度が高いのはどれか。
 - 貧血
 - 皮膚障害
 - 1型糖尿病
 - 好中球減少
 - 血小板減少
- 妊娠10週の尋常性乾癬患者に対する治療法で最も適切なのはどれか。
 - 内服PUVA療法
 - 生物学的製剤注射
 - ビタミンA誘導体内服
 - 活性型ビタミンD₃外用
 - 副腎皮質ステロイド外用
- 麻疹について誤っているのはどれか。
 - 潜伏期間は10～14日である。
 - 発熱は二峰性の経過を取る。
 - 口腔粘膜に白色斑がみられる。
 - 皮疹は癒合する。
 - 解熱とともに皮疹は消失する。
- 我が国の人口統計の最近20年間の変化として正しいのはどれか。2つ選べ。
 - 乳児死亡率は上昇傾向にある。
 - 自然増減数はマイナスに転じた。
 - 老年人口指数は低下傾向にある。
 - 交通事故の死亡者数は減少傾向にある。
 - 悪性新生物の年齢調整死亡率は上昇傾向にある。
- マグネシウムの欠乏に関連するのはどれか。2つ選べ。
 - 脱毛
 - 不整脈
 - 皮膚炎
 - テタニー
 - 味覚障害
- 単純型熱性けいれんの特徴はどれか。
 - 片側性のけいれんを呈する。
 - けいれんは20分以上持続する。
 - 1～3歳で発症することが多い。
 - 24時間以内にけいれんを繰り返す。
 - けいれんの後に24時間以上意識障害が持続する。
- 高齢者の高血圧症の特徴でないのはどれか。
 - 食後血圧低下
 - 起立性低血圧
 - 拡張期高血圧
 - 血圧動揺性増大
 - 主要臓器血流予備機能低下
- 感染症が疑われている患者のバイタルサインを示す。意識レベルGCS15。体温39.2℃。脈拍112/分、整。血圧92/50mmHg。呼吸数26/分。quick SOFA (Sequential Organ Failure Assessment) スコアはどれか。
 - 0点
 - 1点
 - 2点
 - 3点
 - 4点
- 頸部で血管雑音を有する成人患者で考えにくいのはどれか。
 - 頸動脈狭窄
 - 甲状腺機能低下症
 - 高安動脈炎 (大動脈炎症候群)
 - 動静脈瘻
 - 貧血
- 2006年 (平成18年) に比して2016年 (平成28年) で、粗死亡率が増加しているが年齢調整死亡率が減少しているのはどれか。2つ選べ。
 - 自殺
 - 結核
 - 心疾患
 - 悪性新生物
 - 脳血管疾患

宮崎県感染症発生動向 ～4月～

平成31年4月1日～平成31年4月28日（第14週～第17週）

■全数報告の感染症

1類：報告なし。

2類：○結核17例（男性7例・女性10例）：保健所別報告数は【図1】，病型別報告数は【表1】，年齢別報告数は【表2】のとおりである。

3類：報告なし。

4類：○重症熱性血小板減少症候群

1例：延岡保健所管内から報告があった。50歳代で，主な症状として発熱，頭痛，下痢，嘔吐，食欲不振，全身倦怠感，血小板・白血球減少がみられた。ダニの刺し口は不明であった。

○レジオネラ症1例：高鍋保健所管内から報告があった。70歳代で，病型は肺炎型である。主な症状として発熱，意識障害，肺炎がみられた。

5類：○劇症型溶血性レンサ球菌感染症3例（男性1例・女性2例）：宮崎市，都城，延岡保健所管内（各1例）から報告があった。60歳代（1例），70歳代（2例）で，血清群はA群，B群，G群（各1例）である。主な症状としてショック，肝不全，腎不全，DIC，軟部組織炎等がみられた。

○侵襲性肺炎球菌感染症1例：宮崎市保健所管内から報告があった。60歳代で，主な症状として発熱，咳，全身倦怠感，肺炎がみられた。ワクチン接種歴は有りであった。

○梅毒4例：宮崎市，都城，日南，日向保健所管内から報告があった。20歳代（1例），30歳代（2例），80歳代（1例）で，男性が3例，女性が1例であった。病型は早期顕症梅毒（Ⅱ期），無症状病原体保有者（各2例）である。主な症状として梅毒性バラ疹等がみられた。

○百日咳19例（男性9例・女性10例）：保健所別報告数は【図2】，年齢別報告数は【表3】のとおりである。主な症状として持続する咳，夜間の咳き込み，呼吸苦，嘔吐，スタッカート，ウーブがみられた。百日咳のワクチン接種歴は有（14例），不明（5例）である。

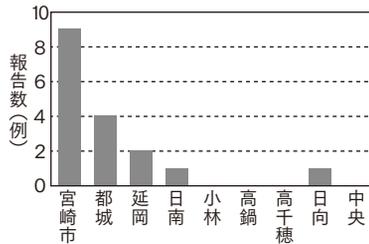


図1 結核 保健所別報告数

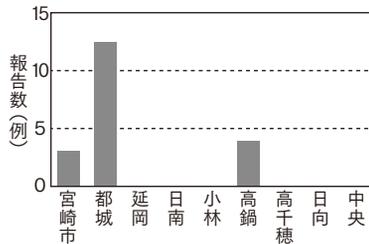


図2 百日咳 保健所別報告数

表1 結核 病型別報告数(例)

肺結核	8
その他の結核(粟粒結核)	1
無症状病原体保有者	8

表2 結核 年齢別報告数(例)

年齢	報告数
0～9歳	1
40歳代	3
50歳代	1
60歳代	2
70歳代	3
80歳代	5
90歳代	2

表3 百日咳 年齢別報告数(例)

年齢	報告数
5～9歳	11
10歳代	8

■5類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数は3,191人（定点あたり95.2）で，前月の114%，例年の84%であった。

前月に比べ増加した主な疾患は手足口病とヘルパンギーナで，減少した主な疾患はインフルエンザと咽頭結膜熱である。また，例年同時期と比べて報告数の多かった主な疾患は手足口病と伝染性紅斑及びヘルパンギーナである。

手足口病の報告数は570人（16.3）で前月の約5.6倍，例年の約2.0倍である。都城（40.8），延岡（27.3）保健所からの報告が多く，1歳が

■病原体検出情報（微生物部）

検出病原体		件
ウイルス	アデノウイルス3型	1
	インフルエンザウイルスAH1pdm09	6
	インフルエンザウイルスAH3	10
	ヒトメタニューモウイルス	1
	パラインフルエンザウイルス1型	3
	パラインフルエンザウイルス3型	1
細菌	Salmonella enterica subsp.houtenae (血清型不明)	1
	Salmonella Manhattan (O8(O6):d:1,5)	1
	Salmonella Heidelberg (O4:r:1,2)	1
	Bordetella pertussis (百日咳菌)	2

全体の約6割を占めている。

伝染性紅斑の報告数は84人（2.4）で前月の約0.9倍、例年の約2.3倍である。日南（5.0）、延岡（4.8）、高千穂（4.0）保健所からの報告が多く、4～6歳が全体の約半数を占めている。

ヘルパンギーナの報告数は164人（4.7）で前月の約5.8倍、例年の約12倍である。延岡（12.3）、都城（10.0）、小林（8.0）保健所からの報告が多く、1歳が全体の約半数を占めている。

■月報告対象疾患の発生動向 〈2019年4月〉

□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は32人（2.5）で、前月比103%と横ばいであった。また、昨年4月（2.9）の84%である。

《疾患別》

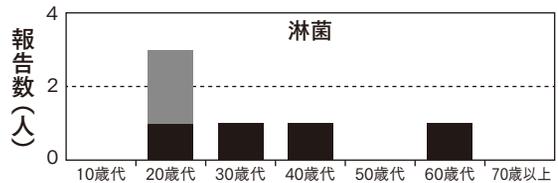
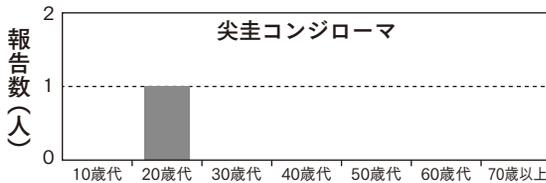
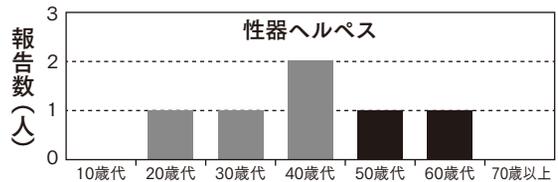
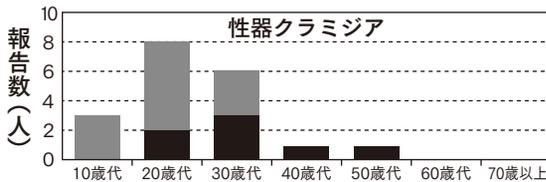
○性器クラミジア感染症：報告数19人（1.5）で、前月とほぼ同率、昨年4月の約0.8倍である。

20歳代が全体の約4割を占めている。（男性7人・女性12人）

○性器ヘルペスウイルス感染症：報告数6人（0.46）で、前月の1.2倍、昨年4月の0.6倍である。（男性2人・女性4人）

○尖圭コンジローマ：報告数1人（0.08）で、前月の0.5倍、昨年4月と同率である。（女性1人）

○淋菌感染症：報告数6人（0.46）で、前月の1.5倍、昨年4月の2.0倍である。（男性4人・女性2人）



■男 ■女

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は16人（2.3）で、前月比146%と増加した。また、昨年4月（2.6）の89%である。

《疾患別》

○メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数15人（2.1）で、前月の1.4倍、昨年4月の約1.1倍である。70歳以上が全体の約半数を占めている。

○ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告数1人（0.14）で、昨年4月の約0.3倍である。（前月報告なし）

○薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

（宮崎県衛生環境研究所）

前月との比較

	2019年4月		2019年3月		例年との比較
	報告数(人)	定点当たり(人)	報告数(人)	定点当たり(人)	
インフルエンザ	393	6.8	1,043	17.7	
RSウイルス感染症	75	2.1	51	1.4	
咽頭結膜熱	78	2.2	93	2.6	
※溶レン菌咽頭炎	551	15.7	513	14.3	★
感染性胃腸炎	1,014	29.0	1,167	32.4	
水痘	77	2.2	64	1.8	
手足口病	570	16.3	105	2.9	★
伝染性紅斑	84	2.4	93	2.6	★
突発性発しん	101	2.9	91	2.5	
ヘルパンギーナ	164	4.7	29	0.8	★
流行性耳下腺炎	22	0.6	23	0.6	
急性出血性結膜炎	0	0.0	0	0.0	
流行性角結膜炎	57	9.5	17	2.8	
細菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
無菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
マイコプラズマ肺炎	0	0.0	0	0.0	
クラミジア肺炎	0	0.0	0	0.0	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	5	0.7	7	1.0	

★例年同時期（過去3年の平均）より報告数が多い
※A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

各郡市医師会だより

宮 崎 市 郡 医 師 会

令和元年となった今年度の公益社団法人宮崎市郡医師会の事業計画(案)、宮崎市郡医師会予算(案)が示され、承認されました。当医師会は公益目的事業、収益事業、法人会計を合わせて全体で112億円を超える予算で運営されます。

事業計画では宮崎市郡の地域医療に関して、地域医療構想の推進と地域包括ケアシステムの充実を戦略としております。本会内部では、令和2年に諸施設を新築集約移転に向けて、新体制で機能するよう組織の改変を行い、医師会病院の収支の安定と、働き方改革を推進します。

新医師会病院は令和2年8月1日開院予定として、現在基礎躯体工事が終わり、免震躯体、1階床工事に入ったところです。5月末よりモデルルームの内覧が可能となり、確認・修正が行われています。新住所も宮崎市大字有田1173番地と決定いたしました。緩和ケア病棟は医師2名体制になって充実しており、産婦人科は救急搬送用保育器を導入し、周産期母子医療センターとして会員との連携強化に努めております。循環器内科では県内初となる「マイトラクリップを用いた経皮的僧帽弁クリップ術」を開始しました。また、今年度から常勤2名の救急科を新設し、新病院でのER型救急医療の開始に備え準備を始めました。

役職員一同、本会の各事業について、今年は集約移転の準備に費やす極めて重要な一年と自覚しております。皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。

(神尊 敏彦)

都 城 市 北 諸 県 郡 医 師 会

当医師会館及び併設する看護学校校舎は、築40年以上を経過し新耐震基準にも適合していないことより建て替えが課題でありました。今回、関係各所、医師会員皆様の協力のもと、地上3階・鉄筋コンクリート造・耐震・総延べ床面積2,915.51㎡の新会館、校舎が平成31年3月20日竣工となり、また3月29日には、落成式並びに祝賀会・内覧会が執り行われました。今後、これまで以上に会員の先生方には例会や講演会等に安心して多数参加していただきますようお願いいたします。

(久保田 秀紀)

延 岡 市 医 師 会

25年前の北浦町では、外来に來られる方のほとんどが高齢者でした。最近では、高齢者の方が激減しています。田舎では、大家族で高齢者を守るイメージですが、ほぼ100%共働きのため、高齢者が自分の事ができなくなると施設に入所となります。以前は施設数も限られ、空きを待つ状態でしたが、最近では、施設数も増え直ぐ入所できます。あと20年後、

団塊の世代が終わった時は、箱物施設はガラガラになり、施設同士のみではなく、入院患者の高齢者を取り合うことが起こらないか、危惧しております。

(高橋 博和)

日 向 市 東 白 杵 郡 医 師 会

4月4日(木)に当医師会立看護学校の入学式があり、出席いたしました。感じたことは、男子学生の入学者が減っていることと社会人経験者が多くなってきていることです。

当地区の医療事情を考えると、一人でも多くの人に受験していただき、資格を取得して地域医療に貢献して貰いたいと願っているところです。学生の状況は、現役生より一度社会に出ていろんな経験をされている学生のほうが熱心に取り組んでいると報告を受けています。

ところで、3月の教務委員会で看護学校規則に従い5名を原級留め置きにしたとの報告がありました。それぞれの動向を心配していましたが、卒業をめざしていると聞き安心しているところです。

本年度も始まったばかりですが、早急に受験

者獲得に向けた取組みを始めることが大事であると思っています。学校長、副校長、主事の先生方と連携して取り組んでいきたいと思っています。

(千代反田 晋)

児 湯 医 師 会

梅雨の季節、気を付けないといけないのが熱中症。特に梅雨明け前後の湿度が高く急な気温上昇時には要注意。この時期はまだ暑熱環境に身体が慣れておらず、発汗等の体温調節が上手く働きづらいため熱中症のリスクが上がります。総務省によると、平成30年6月の熱中症による救急搬送人員数は5,269人と前年より1,788人増えたそうです。特に高齢者は暑さや喉の渇きに鈍感で室内でも容易に熱中症を起こしてしまいます。予防のためにも普段からの空調活用や小まめな補水を指導したいものです。

(糸井 仁)

西 都 市 西 児 湯 医 師 会

建物の老朽化に伴い新築移転を計画している西都児湯医療センターの移転先がおおよそ決定したようです。

候補地としては東九州自動車道の西都インターチェンジ付近などいろいろな案がありましたが、結局は現在の医療センターの近くということになったようです。

今後さらに人口減少が予測される中ではコンパクトなまちづくりが必要と思われ、その近くに医療センターがあることがやはり最良の選択なのであろうと思います。

(黒木 重晶)

南 那 珂 医 師 会

今年のゴールデンウィークは、通常の休みに加えて、新天皇の即位、及びその前後が国民の休日となり、最大10連休になるということが決まりました。その時からこんな長い休みはこれからまずないという嬉しさ半分、月の半分が休みで職員さんの給料を払えるか、10日も休んではそのあと患者さんが来てくれないかもという心配半分でありました。子どもたちに予定を聞くと部活とか友達との予定な

どですすでに彼らの予定は詰まっており、結局4/30、5/2の二日は職員さんの協力を得て病院を開けることにしました。定期受診の方、新患の方が結構来てくださり、連休明けもそう混雑することはなく開けてよかったと思いました。

患者さんにも聞いてみたのですが、ほとんど家にいるということで、TVで報じられるサーフボードや大きな荷物を持った家族連れやカップルでゴった返す空港、海外でバカンスを楽しむ姿は別世界のこのように感じられたのでした。前半は雨模様で今一つ盛り上がりませんでした。後半は天気も良く行楽地は賑わったのではないのでしょうか。なじみの居酒屋の予約がとれなかったり、チキン南蛮のおぐらの前の長蛇の列を見ると宮崎にも確かに人は集まっており、地域経済が潤ったのも確かだと思いました。

結局私は一泊二日の温泉旅行に家内と娘と出かけ、一日はゴルフに行き、あとは家内の断捨離と家の掃除に付き合うという有意義と言えば有意義なゴールデンウィークを過ごしました。皆様はいかががでしょうか。

(川西 昭人)

西 諸 医 師 会

当西諸地域には市町村が設置する夜間急患センターがないこと等から、平成22年4月より小林市から委託を受け時間外急病診療体制を開始いたしました。これまでの9年間で15,372名の方が受診をされておられます。平日夜間は小林市立病院内の夜間急病診療室または会員の自院にて、日曜祝日は在宅当番医の医療機関とは別に、小児科を中心に、小林市立病院や民間の小児科の先生方のご協力を得て日中の診療を行っております。平日はもちろんのこと日曜祝日等につきましても、ほぼすべての日をカバーできるようになっており、小林市のみならず、えびの市や高原町の住民の方々の安心にもつながっているのではないかと考えております。

また小林市立病院では1月から産婦人科の分娩が開始され、4月からは常勤の小児科医師も赴任されましたので、今後は更に連携を図り地域医療のため邁進してまいります。

(堀 英昭)

メディアの目



お医者任せにしない

共同通信 宮崎支局長
 うえ の とし ひこ
 上 野 敏 彦

今年度の外交青書から「北方四島は日本に帰属する」という記述が消えたのは驚きだったが、この場で日本政府の方針転換に苦言を呈するようなヤボなことはしたくない。そうではなくて、日ロに関係するささやかな話題を提供したい。

30年近く前、東京社会部で勤務していたころ、北方領土に入り、旧ソ連の人たちに密着取材をしたことがある。そんな関係でボルシチやピロシキの味がなつかしくなるのだが、昨年暮れ南九州にもロシア料理の専門店があることを知り、宮崎市南方町の田園地帯に建つ3階建ての洋館「ヴォルガ」を訪ねた。

この店を営む中野智枝子さんは鹿児島生まれの81歳。新聞記者の父親が戦時中に満州を転勤するのに伴い、終戦は黒竜江省で迎えた。白系ロシア人のメイドが家で作ってくれる料理を食べながら育ち、調理法も体で覚えていったという。

「タマネギやニンジン、牛肉を煮込むボルシチは酸味があって食べやすいので日本人の口にもよく合うのよ」と話す。

戦後は宮崎市へ引き揚げて所帯を持ったが、夫が病弱のため一家の生計を支えることに。1965年に県庁近くにカウンターだけの店を開き、大工町へ移り、18年前に現在地へ引っ越した。

今も夜は11時に寝て毎朝4時に起きて仕込みを始める。ボルシチは3日かけて寸胴に150杯分を作る。ピロシキは牛のミンチ肉にタマネギ、ゆで卵のみじん切りなどを入れて楕円形のパンに包んで油で揚げる。

「料理をしているときが一番幸せ。90歳まで働きたい」が口ぐせだが、厨房に立ちっぱなしの生活を続けてきたため、膝がはれ上がって病院へ通うことに。手術をすればゲートボールもできると医者に勧められたが、「私はそんな趣味はないし、ベッドで寝ているうちボケて仕事ができなくなるのはイヤです」と断ったそうだ。

風呂に入って寝る前に病院の指導通りに、リハビリに励むうちに調子が良くなった。「お医者さんの言う通りにするのでなく、人生は自分で判断することも大事」と語る。

そんな中野さんでも店の将来は気がかりだ。「定年男子でもロシア料理が好きなら教えてあげる。でも若い人はお断り。根気がないからね。お客が一人でも来る以上は最後まで厨房に立ちたい」と話す。

私の職場から「ヴォルガ」までは自転車で小1時間。緑の気持ちがいい季節になってきたので、優しい味の手づくりランチを食べにまた出かけようと思っている。

宮崎大学医学部だより

病態解析医学講座 —放射線医学分野—



ひらい としのり
平井 俊範 教授

宮崎大学医学部放射線医学教室は昭和51年に初代渡邊克司教授が宮崎医科大学放射線医学講座として始まり、平成9年に第2代田村正三教授が引き継がれ、平成27年に私が当教室の第3

代教授として赴任し4年が経過しました。平成28年には当教室は開講40周年を迎えましたが、同年11月に当教室の西井龍一先生が国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構放射線医学総合研究所のチームリーダーに就任されました。また、平成30年4月に長町茂樹先生が福岡大学放射線科核医学部門の教授に就任されました。当教室にとって大変名誉なことで、この伝統ある教室をさらに発展させていく所存ですので、皆様方のご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

現在の当教室では、画像診断（CT/MRI診断）、核医学、インターベンショナルラジオロジー（IVR）、放射線治療の4つの部門に分かれて診療、教育、研究を行っています。放射線科医は現在の高度化した医療においては病気を正確に診断し、治療する上で非常に重要な役割を担っています。しかし、本邦の放射線科医は欧米と比べ極めて少なく、絶対数不足が指摘されています。本県においても同様に放射線科医の数を増やすことが喫緊の課題です。

最近の当院放射線部の大きなイベントとして診断機器の更新がありました。平成28年に最新鋭のMRI装置が設置され、現在は3Tの磁場

強度のMRI装置が3台になり、診療、研究に大いに活用しています。平成29年から30年にかけて、最新鋭のCT装置2台が導入されました。1台はdual energy CTで様々な機能画像が得られるほか、少量の造影剤で十分なコントラストが得られるため、腎機能低下で造影剤が使いにくい患者さんに大変役立っています。もう1台は320列CTで様々な領域を一回転でカバーできるため、短時間で高画質な画像を提供できています。そのほか平成30年にはPET-CT装置の更新がありました。従来の装置と比べ短時間で高精細な画像が得られます。このように、ここ数年で大学病院の高度医療を支える放射線機器環境が整ってきました。

研究面においては、現在大学院生が当教室に5名（ミャンマーからの国費留学生を含む）在籍し、得意分野を生かした様々な画像診断の研究に着手し、宮崎大学内の基礎系、臨床系の他の教室と連携して研究を行っています。全国規模の多施設共同研究（企業の受託研究）を現在当教室が主幹で複数行い、また、人工知能の画像診断研究に関して企業との共同研究をいくつか立ち上げております。また、環境省からの当教室への依頼で水俣病の脳MRI画像統計解析の研究を国立水俣病研究所と東京大学の協力にて進めています。そのほか海外の施設との共同研究においては、米国コーネル大学やスウェーデン企業とMRI画像研究で連携しています。韓国忠北大学とは放射線科を主体とした学部間の国際交流協定を締結し、共同研究を始める準備が整いました。今後、これらの研究成果を出して当教室をアピールしていきたいと思っております。

最後になりましたが、宮崎県医師会の先生方には今後も大変お世話になります。何卒、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

部会だより

労 災 部 会



たなか としまさ
田中 俊正 部会長

宮崎県医師会労災部会は、昭和39年5月に設立されて以来、会員相互の親睦を深め、労災診療内容の向上と労働者の福祉、労災補償の発展に寄与することを目的に事業活動を行っています。会員は、労働者災害補償保険法に基づく労災指定医療機関の代表をもって、

現在413の医療機関で構成されています。

労災保険診療は公的医療保険に準じての治療のみではなく、傷病労働者の早期社会復帰を目的とした傷病期間の補償、症状固定・後遺障害の補償、障害年金等診療など、身障者介護分野まで様々な診断や認定等に関して、多くの分野での専門医のお力を必要としております。県医師会員の先生方には、日頃からのご協力に対しまして、この場をお借りして衷心より感謝申し上げます。

次に労災部会について、現況を紹介します。

1 労災部会の構成

- 1) 理事会（部会長以下9名、監事2名、顧問3名）
- 2) 宮崎労災保険診療費審査委員会（委員長以下11名）
- 3) 宮崎県医師会労災部会自賠委員会（委員長以下12名）

2 令和元年度事業計画（案）

- 1) 定期総会
- 2) 補習教育（研修会等）の開催
 - ①医学会（県外科医会並びに県整形外科医会との合同学会）の開催
 - ②労災診療費算定実務研修会（3地区）の開催
 - ③労災関係保険審査委員会会議への参加
- 3) 労災診療指導委員会の開催（毎月1回 年12回）
- 4) 理事会の開催（毎月1回 年12回）
- 5) 労災指定医療機関の指導・調査
- 6) 交通事故問題の検討

- ①自賠委員会（年2回）の開催
- ②損害保険医療協議会（年2回）の開催
- ③損害保険医療協議会小委員会（適時必要に応じて開催）
- ④自賠責保険研修会（医療機関実務担当者向け）の開催

昨年定期総会後に行われた県外科医会・県整形外科医会との合同学会では、「スポーツ外傷・障害における骨盤・胸郭機能の重要性」と題して、鹿屋体育大学保健管理センターの藤井康成教授に実技を交えたご講演を行っていただきました。今年度の合同学会は、働き方改革関連法が成立し、順次施行されることに伴って、医師の時間外労働規制等が特に問題視されております。ただ、医師の健康への配慮並びに地域医療の継続性の両立が重要であることから、日本医師会常任理事の松本吉郎先生に「医師・医療現場の働き方改革について～医師の健康管理と地域医療への影響～」と題して、労災医療の現状にも触れていただく内容でご講演をお願いいたしました。来る7月6日(土)17時から県医師会館にて開催しますので、先生方のご参加をよろしくお願いいたします。

また、労災診療費算定実務研修会には、毎回多くの医療請求事務職員の方々が受講され、労災診療費の請求漏れをなくし、適正な請求方法についてご理解していただいております。

当部会自賠委員会では、損保会社からの健康保険使用の強要や柔整等への並行診療など、会員医療機関と患者さん、損保会社との交通事故診療における問題解決にも引き続き取り組みますので、トラブル事案が生じたときには、県医師会労災部会事務局までご連絡をお願いいたします。

最後に、労災指定医療機関で当部会への加入が未だお済みでないようでしたら、ご入会についてお願い申し上げます。会員先生方と労災保険診療・交通事故診療に関する諸問題への迅速な解決を図って参りますので、今後ともよろしくお願いいたします。

「はまゆう随筆」原稿募集

夏の恒例となりました7、8月号の「はまゆう随筆」を募集いたしますので奮ってご投稿をお願いいたします。毎年皆様に大変ご好評いただいております。

題 材 診療閑話, 私の趣味, 旅行記, スポーツ談義, 詩, 詩歌, 俳句など何でも結構です。なお, 本文に関連した写真・イラスト等も掲載できます。

字 数 800字以内 (字数が多い場合は「はまゆう随筆」として掲載できないことがありますのでご了承ください)

締 切 令和元年6月28日(金)

- ◎ 原稿に「はまゆう随筆」である旨とタイトル, 氏名を先頭に付記してください。
- ◎ 掲載については, 広報委員会にご一任くださいますようお願いいたします。
- ◎ 掲載はおひとり1編とさせていただきます。
- ◎ ご投稿の原稿が他誌に掲載, または投稿中の場合はその旨お知らせください。
- ◎ 原則として, 原稿はお返しいたしません。返送を希望される方はその旨ご指示ください。
- ◎ 日州医事は, 会員以外(マスコミ・行政・図書館等)にも配布しています。

原稿は主にメールにて受け付けております。ワードまたはテキスト形式で作成・保存し, 日州医事原稿専用アドレス (genko@miyazaki.med.or.jp) 宛にお送りください。もちろん, それ以外の方法 (FAX, 郵便等) でお送りいただいても構いません。

原稿送付・問合せ先

宮崎県医師会広報委員会 はまゆう随筆係

E-mail : genko@miyazaki.med.or.jp

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101

FAX 0985-27-6550 TEL 0985-22-5118

宮崎県臨床研修医説明会・講演会/新研修医祝賀会 ～All Miyazaki研修医スタートアップセミナー&ウェルカムパーティ～

と き 平成31年4月6日(土)

ところ 宮崎観光ホテル

平成31年4月6日、宮崎観光ホテルにおいて、宮崎県臨床研修医説明会・講演会および新研修医祝賀会を開催した。また、本行事にあわせ、九州厚生局および宮崎県により、1年次臨床研修医を対象とした新規登録保険医集団指導も同日実施された。

新研修医のための説明会

本年度、本県で初めて臨床研修を行う医師（1年次研修医）を対象として、「新研修医のための説明会～医師会の役割について～」を開催した。

説明会は、荒木常任理事の司会のもと、山村副会長が「医師会の紹介」、金丸常任理事が「宮崎県臨床研修・専門研修運営協議会」について、濱田副会長が「医療事故調査制度/医事紛争」について説明した。最後に、小牧常任理事が医師会入会のメリット等を説明し、医師会への入会をお願いした。出席者は62名（医科57名、歯科5名）であり、うち55名が医師会へ入会した。

なお、本会から1年次臨床研修医に記念品として印鑑を贈呈した。



研修医合同グループワーク

「皆で作ろう！“県内研修医の輪”～合同アイスブレーキング～」というテーマで研修医合同

グループワークを開催した。講師は、宮崎大学医学部地域医療・総合診療医学講座教授の吉村学先生、ファシリテーターには、同講座助教の早川学先生と総合診療プログラム専攻医の枝元真人先生にお務めいただいた。参加者がグループで対戦するペーパーチェーン作りゲームや名刺交換ゲームを行い研修医同士の交流を行った。1・2年次臨床研修医および指導医等111名の参加があった。



宮崎県臨床研修講演会

「ジェネラリストのための内科外来マニュアル」などの著書でよく知られている沖縄県立中部病院内科副部長（総合内科）の金城紀与史先生に「イシ社会へようこそ！イシアタマを科学する」と題して講演をいただいた。これから研修医は医師のプロ集団に入り、プロらしく考え、話し、行動するために研修していく。スポーツと同じようにプロになるには、研修という経験を積むことでイシアタマになり、医師らしく思考することが可能になり、スナップ診断もできるようになる。一方でイシアタマのせいで意外なトラブルにもなりかねない、といった内容でイシアタマのプロセスについてお話いただいた。1・2年次臨床研修医および指導医、医学生等157名の参加があった。



新研修医祝賀会

祝賀会には、本県で研修を始める1年次研修医を歓迎するために、県から河野知事をはじめ、桑山病院局長・渡辺福祉保健部長、宮崎大学から池ノ上学長・片岡医学部長・教授・医局長・医療人材育成支援センターおよび卒後臨床研修センターのスタッフ、県内の基幹型・協力型臨床研修病院の指導医など関係者および2年次研修医ら合計187名が集合した。

荒木常任理事の司会・進行のもと、初めに主催者を代表して河野会長が歓迎の挨拶を行った。その後、河野知事および池ノ上宮崎大学長から研修医へ激励の言葉が送られた。次いで、新研修医を代表して宮崎大学医学部附属病院の

井手雄太郎先生がお礼と研修への意気込みを述べ、菊池県立宮崎病院長の乾杯の発声で開宴した。宴の席上では、1年次研修医に一人ひとり自己紹介を兼ねて抱負を述べていただき、祝賀会は滞りなく盛会裏に終了した。



平成31年度新研修医

- | | | | | |
|--------------|--------|---------|---------|---------|
| ◆宮崎大学医学部附属病院 | 小島 慎平 | 吉田 佳奈 | 坂口 大介 | ◆県立日南病院 |
| 井手 雄太郎 | 清水 里沙 | 御上 貴史 | 清水 黎玖 | 大田 勇輔 |
| 井之上 晃 | 下河 祐太 | 徳永 成将 | 津田 宗一郎 | 波山 瑛文 |
| 後田 眞樹 | 田平 康晴 | 渡邊 啓夢 | 波種 真希 | 長友 逸朗 |
| 内田 暁子 | 外山 直樹 | 岩切 万実 | 原田 耕士朗 | ◆宮崎生協病院 |
| 内田 圭祐 | 野尻 尚 | 大貫 雄一 | 二見 加菜 | 井上 奈津子 |
| 大楠 桃子 | 林 俊平 | 白水 慎一郎 | 森田 恭史 | 有田 千紗都 |
| 小川 智香 | 林 致子 | 山下 祐典 | 吉崎 愛 | ◆古賀総合病院 |
| 小畑 静 | 福井 仁志 | ◆県立宮崎病院 | 脇山 英 | 今平 海斗 |
| 河野 文耶 | 増山 友二 | 安藤 伶旺 | 外山 宗樹 | 坂本 遊 |
| 喜多 恒允 | 丸山 康誠 | 井上 ちひろ | 佐井 新一 | 柴田 麻珠子 |
| 櫛間 菜津美 | 宮城 隆雅 | 河野 翔 | ◆県立延岡病院 | 長友 達寛 |
| 黒木 啓吾 | 山下 真由子 | 黒木 直人 | 大久保 友貴 | |
| 黒木 勇希 | 山元 楓子 | 興梠 舞 | 吉田 瑛建 | (計62名) |

日医インターネットニュースから

■全国から医療関係者集い盛大に — 医学会総会・学術集会 —

「第30回日本医学会総会2019中部」の学術集会が4月27日から29日までの3日間、名古屋市で開催され、全国から集った医療関係者でにぎわった。

●「予防」の重要性を強調 横倉会長

開会式に続いて、同総会の会頭、日本医師会長、日本医学会長が講演。横倉義武会長は「人生100年時代」を迎える中で、医師の役割は診断・治療だけではないと説明。「(国民が)生涯を通じて健やかに過ごすためには、予防が重要になる。かかりつけ医の役割がますます高まるし、学校医や産業医として地域で活動することが重要になる」と訴えた。

また「かかりつけ医の心は、まさに『寄り添う心』だ。一人の患者さんに対し多くの医療関係者が協力して、患者さんの心に寄り添いながら支える。こうした心なくして超高齢社会における医療は立ち行かないとも考えられる。その上で、平成の次の時代の医療制度を、医師と患者・国民との信頼関係の上に、医学の進歩とともに持続可能なものとして築き上げていくことが、私たちの未来に対する責任だと思う」と述べた。(令和元年5月10日)

■「身近な医療」の在り方で議論開始 — 中医協 —

中医協総会(会長=田辺国昭・東京大大学院教授)は5月15日、患者・国民に身近な医療の在り方について議論をスタートさせた。厚生労働省は具体的なテーマとして、かかりつけ医機能等の在り方や、紹介状なしの大病院受診時の定額負担などを提示。支払い側は、かかりつけ医機能として2018年度診療報酬改定で導入された「初診料 機能強化加算」の算定要件の見直しを含めた議論を求めた一方で、診療側は検証結果を踏まえたエビデンスに基づく議論が必要と主張した。

厚生労働省が提示したテーマは▽患者・国民から見た医療(患者・国民から見た医療、紹介状なしの大病院受診時の定額負担)▽かかりつけ医機能等の在り方(かかりつけ医機能、かかりつ

け歯科医機能、かかりつけ薬剤師・薬局機能)▽患者にとって必要な情報提供や相談支援の在り方(患者への情報提供、患者相談・支援、安全・安心な医療の提供)ーの3項目。

支払い側の幸野庄司委員(健保連理事)は、かかりつけ医機能の評価として導入された初診料 機能強化加算について「かかりつけ医に誘導されるよう報酬で対応したものと考えていたが、患者の受療行動を変えるまでには至っていない。次期改定に向けた十分な議論が必要だ」と指摘。その上で「患者をかかりつけ医に誘導することへの評価であれば、初診料機能強化加算の設定は方向性が異なる。かかりつけ医は、患者からの相談、専門機関への紹介機能などを持つ必要があり、現行の算定要件は見直すべきだ」と問題提起した。

吉森俊和委員(全国健康保険協会理事)は、18年度改定の検証結果を見た上での議論になるとしながら「かかりつけ医への国民の意識は、まだまだ醸成されていないのではないか。診療報酬での評価の在り方は、医師の信頼性や、国民・患者等の病歴・健康把握など新たな評価指標も踏まえた検討が必要」などと述べた。

一方、日医の松本吉郎常任理事は「かかりつけ医機能の強化・充実のために、制度として国民の理解を得ていくことが大事だ」と強調。その上で「そもそも、かかりつけ医は何でも相談できる医師だ。初診料 機能強化加算は、一定以上の技術を提供できる体制を取っているところを評価するものだ」とした。現行の算定要件が厳しく、なかなか算定できない実態もあるとして検証結果に基づく議論を求めた。

また、支払い側委員からは、紹介状なしで大病院を受診する場合の定額負担の在り方に関連して、特定機能病院と許可病床400床以上の地域医療支援病院を対象としている現行の範囲を、次期改定では許可病床を200床以上の地域医療支援病院まで拡大させるべきとの意見も出た。

(令和元年5月17日)

■妊産婦診療「負担に見合う実感が重要」 — 厚労省・検討会 —

診療報酬の妊婦加算の凍結を受けて設置された厚生労働省の妊産婦に対する保健・医療体制

の在り方に関する検討会（座長＝五十嵐隆・国立成育医療研究センター理事長）は5月16日、これまでの議論を整理し、取りまとめに向けて意見交換した。

妊産婦の自己負担については、負担に見合う内容であると実感できることが重要だとの意見が多かった。次回にも意見を取りまとめる。

これまでの議論を▽妊産婦に対する相談・支援の在り方▽妊産婦に対する医療提供の在り方▽妊産婦を支える体制等—の3つのテーマに分けて整理した。医療提供の在り方は妊産婦の診療・治療、診療の質の向上、口腔の健康、薬剤の各分野について、現状の課題とこれまでの意見をまとめた。

妊産婦の診療・治療には、産婦人科と産婦人科以外の診療科との連携の拡充などを盛り込んだほか、診療の質の向上では、産婦人科以外の診療科の医師の研修制度の構築や、妊産婦の診察に積極的な医療機関への評価などが重要とまとめた。妊産婦を支える体制では、妊産婦が自己負担に見合う内容であると実感できる取り組みや、妊産婦の医療費への助成制度を含めて、妊産婦の自己負担を検討する必要があるなどの意見が並んだ。

●医療費助成制度の拡充求める意見も

松本義幸構成員（健保連参与）は妊産婦の自己負担をなくすことや割合を変更することは難しいと指摘。「文書の手渡しなど自己負担に見合った内容だと実感できるような取り組みを評価することが大事だ」と述べた。野口晴子構成員（早稲田大政治経済学術院教授）も「妊産婦の方がサービスを受けたのだと実感できる取り組みを評価することが重要だ」と述べ、取り組みに当たってデータを整備すべきだとした。日医の平川俊夫常任理事は、少子化対策を進めている中で自己負担が増えたことが批判を招いたと分析し、乳幼児医療費・子ども医療費の助成制度を妊産婦にも広げるべきだと提言した。

医療提供の在り方について中井章人座長代理

（日本産科婦人科学会代議員／日本医科大多摩永山病院長）は、妊産婦を積極的に診療する医療機関への評価が重要だと強調した。例として精神疾患を挙げ、積極的に診療に取り組む医療機関を一覧で見ることができるようすべきだと提案した。平川常任理事は「妊産婦の診療はかかりつけ医が広く対応できる体制が望ましい」とし、日医のかかりつけ医機能研修の中に妊産婦の診療の留意点などを盛り込むよう検討したいとした。（令和元年5月21日）

■児童福祉法改正案、衆院厚労委で可決 — 28日に衆院通過へ —

児童相談所に医師・保健師の配置を義務化する方針などを盛り込んだ児童福祉法・児童虐待防止法改正案について、衆院厚生労働委員会は5月24日、全会一致で可決した。改正案は与野党協議による修正が入っている。法案は28日の衆院本会議で可決され、参院に送られる見通し。

●医学的知見に基づく意見「十分勘案を」

衆院厚労委は、法案に対する付帯決議（24項目）も全会一致で採択した。「医師、歯科医師その他の医療従事者から児童虐待に関する通告または児童相談所の対応に対して意見等があった場合には、その医学的知見に基づく意見等が十分勘案されるようにすること」を政府に求めている。

また、「地域の医師会等と協力して研修等を実施するなど、医師等の児童虐待対応の向上に努めること」「児童虐待の発見のため必要な知識・技術を十分に有する医師、歯科医師、保健師、助産師および看護師の確保、養成に努めること」も求めた。

ほかに、子どもの心理的治療や相談援助を行う児童心理治療施設の整備、子どもの死因の情報収集に関する体制整備の検討なども求めている。

（令和元年5月28日）

日医インターネットニュースは、日本医師会のホームページからご覧になれます（毎週火・金更新）。

日本医師会（<http://www.med.or.jp/>）>メンバーズ>日医インターネットニュース

メンバーズルームへのアクセス方法

◆ユーザ ID：会員 ID（日医刊行物送付番号）の10桁の数字（半角）

◆パスワード：生年月日の「西暦の2桁，月2桁，日2桁」の6桁の数字（半角）

医師国保組合だより

～保健事業のご案内～

医師国保組合では、下記の保健事業を実施しております。それぞれの実施期間及び接種期間は令和2年3月末日までです。5月末に組合員の先生方へ申請書を送付しておりますので、ぜひご利用ください。

1 健康診断

対 象 者	次のいずれかに該当する被保険者の方々です。 ①組合員、高齢組合員並びにその配偶者 ②ご家族のうち、本年度中に満40歳になる方～74歳の方
実施機関	各地域の健診機関並びに医療機関 ※自院で実施されても請求できますので「健康診断個人票」により申請してください。 ※宮崎市郡医師会成人病検診センターにて日曜日に集団健診を実施しています。但し、子宮頸がん検診は実施できません。 (予約は当組合にお電話ください) ①実施日：令和元年9月29日(第5日曜日)、10月20日(第3日曜日) 令和2年1月19日(第3日曜日)、2月2日(第1日曜日) 2月16日(第3日曜日)、3月1日(第1日曜日) ②定 員：各30名 ★日曜日の胃内視鏡検査について(令和元年度より実施) ※実施人数：1日5名まで(人数や検査状況によりますが、午前中には終了します) ※申込受付は先着順です。お申込みはお早目をお願いします。例年、特に年明け以降はお申込みが大変多くなっておりますので、なるべく年内の日程をおすすめします。
検査項目	血液生化学検査、肝機能検査、血糖検査、尿検査、心電図検査、貧血検査、胸部X線検査、便潜血検査、腹部超音波検査他、詳細は「健康診断個人票」にてご確認ください。

2 胃・大腸内視鏡検査の補助

対 象 者	次のいずれかに該当する被保険者の方々です(健康診断対象者と同様)。 ①組合員、高齢組合員並びにその配偶者 ②ご家族のうち、本年度中に満40歳になる方～74歳の方
検査内容・補助金額	①胃内視鏡検査 15,280円 ②大腸内視鏡検査 21,600円 ※それぞれ1人1回、上記金額を上限として実費を補助します。
請求方法	支給申請書により、組合に申請してください。

3 脳ドック等の補助

対 象 者	被保険者全員(組合員とその世帯に属する方)並びに高齢組合
検査内容・補助金額	頭部MRI、頭部MRA、頭部CT等 20,000円 ※1人1回、上記金額を上限として実費を補助します。
請求方法	支給申請書により、組合に申請してください。

4 肺炎球菌ワクチン接種補助

対 象 者	被保険者全員(組合員とその世帯に属する方)並びに高齢組合員
補助金額	1人5,000円 ※支払額が補助額を超えた場合の差額は自己負担となります。
請求方法	支給申請書により、組合に申請してください。

5 低線量ヘリカルCT肺がん検診

対 象 者	被保険者全員（組合員とその世帯に属する方）並びに高齢組合員
実施機関	組合にて委託している県内医療機関 ※医療機関については、申請書の裏面または、当組合ウェブサイトをご覧ください。
申込・ 受診方法	①医療機関へ受診の予約をしてください。 ②検診当日は、受診券兼請求書を医療機関へご持参ください。 ※自己負担はございません。

6 歯科健康診査

対 象 者	被保険者全員（組合員とその世帯に属する方）並びに高齢組合員
実施機関	宮崎県歯科医師会の会員である歯科医院
健診内容	* AまたはBコースをお選びいただけます（健診のみ実施も可）。 Aコース 歯科健康診査+歯石除去・歯のクリーニング Bコース 歯科健康診査+歯石除去・歯のクリーニング+フッ素塗布 ※歯科健診の項目…歯の状況、歯周病、補綴の状況、顎関節、アフタ、口腔粘膜疾患等 ※歯石除去は保険診療の歯石除去とは内容が異なります。
申込・ 受診方法	①組合員宛にお送りしている申込書に記入の上、組合宛にファックスしてください。無料券、歯科健康診査票（4枚複写）、質問票を人数分送付します。 ②歯科医院へ受診の予約をしてください。 *宮崎県歯科医師会の会員であることを必ずご確認ください。 ③健診当日は、無料券、歯科健康診査票（4枚複写）、質問票、被保険者証を歯科医院へご持参ください。 ※自己負担はございません

医師国保からのお知らせ

<健康保険適用除外申請の手続きについて>

医師国保に既にご加入の方は、事業所が法人化する等で健康保険の適用となる場合でも、健康保険適用除外の承認を受けることにより、引き続き医師国保に残ることができます。

健康保険の適用除外承認申請が必要になったときは、事実の発生した日から14日以内に年金事務所へ届け出なければなりませんので、まずは当組合までお問合せください。

<「高齢受給者証」の更新について>

高齢受給者（70歳～74歳）に該当する被保険者の方には、被保険者証に加えて医療費の負担割合を提示するための「高齢受給者証」を発行しております。この高齢受給者証は、前年の課税所得（課税標準額）により当年度の医療費の負担割合を判定しており、毎年8月1日が更新日となっております。

該当する被保険者の方には、所得の分かる書類の提出依頼文書を今月中にお送りしますので、ご提出の方をよろしくお願いいたします。

（問合せ先）宮崎県医師国民健康保険組合

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 TEL：0985-22-6588 FAX：0985-27-6550

※各種申請書は、当組合ウェブサイトからダウンロードできます。

<http://www.miyazaki.med.or.jp/kokuho/>



平成31年4月2日(火) 第1回常任理事協議会

医師会関係
(議決事項)

1. 4/6(土) (宮観ホテル) 平成31年度宮崎県臨床医研修説明会・講演会／新研修医祝賀会～ALL Miyazaki 研修医スタートアップセミナー&ウェルカムパーティ～について
九州厚生局宮崎事務所、県医師会及び県臨床研修・専門研修運営協議会等が主催する一連の行事に関して、進行及び出席者、資料等の最終確認が行われた。
2. 5/21(火) (日医) 平成31年度第1回都道府県医師会長協議会の開催について
河野会長が出席することが承認された。また役員で提出議題等がある場合は事務局に申し出ることとし、その取扱いは河野会長に一任することとなった。
3. 後援・共催名義等使用許可について
 - ① 5/19(日) (新富町文化会館)「第21回アクション・フォーラム宮崎」の後援について (再)
→県内の依存症の自助グループが集い、アクションに関する諸問題や解決策等を探ると共に、一般市民に対して啓発活動等を行うイベントで、過

去の開催内容等を確認した上で、名義後援を行うことが承認された。

- ② 8/24(土) (宮崎市民プラザ) 第8回呼吸療法勉強会について

→医療従事者を対象として、質の高い呼吸管理及び看護を提供するために必要なスキルを学ぶセミナーで、名義後援を行うことが承認された。

4. 本会外の役員等の推薦について

- ①宮崎県蚊媒介感染症対策会議委員の推薦について

→蚊媒介感染症の対策と有効性に関する評価等を行う会議で、任期満了に伴う推薦依頼があり、引き続き峰松理事を推薦することが承認された。

- ②宮崎県歯科保健推進協議会委員の推薦について

→歯・口腔の健康づくりに関する施策を総合的に推進することによって県民の健康増進に寄与することを目的に設置される協議会で、任期満了に伴う推薦依頼があり、引き続き荒木常任理事を推薦することが承認された。

5. 業務委託について

- ①肝炎ウイルスに関する検査事業の業務委託契約について

→20歳以上の県民(宮崎市を除く)で過去に肝炎ウイルス検査を受けたことがない方を対象に行われる事業で、診療報酬改定に伴う検査料の変更を反映させた上で、消費税増税前(8%)及び増税後(10%)の2つの単価で契約を締結することが承認された。

6. 宮崎県糖尿病発症予防・糖尿病性腎症重症化予防対策協議会(医療圏別協議会)の任期満了に伴う推薦について

二次医療圏における糖尿病発症予防・糖尿病性腎症重症化予防の更なる推進のために選出される委員で、任期満了に伴う推薦依頼があり、各郡市医師会にそれぞれ2名（医師及び事務局）の人選を依頼することが承認された。

(報告事項)

1. 3月末日現在の会員数について
2. 3/31(日) (日医) 九州ブロック日医代議員連絡会議について
3. 3/31(日) (日医) 日医臨時代議員会について
4. 3/29(金) (喜泉) 医療事故調査支援委員会常任委員会について
5. 3/30(土) (東京) 全国医師会医療秘書学院連絡協議会試験委員会・常任委員会・運営委員会について
6. 3/27(水) (県庁) 県個人情報保護審議会について
7. 4/2(火) (県医) 治験審査委員会について

平成31年4月16日(火) 第2回常任理事協議会

1. 地球温暖化防止対策（クールビズ）の実施について

例年同様、日本医師会が5月1日～10月31日の6か月間、地球温暖化防止に向けて夏の軽装に取り組むことから、本会でも同じ期間、クールビズ等の対応を行うことが承認された。

2. 改元に伴う元号の取扱いについて

日本医師会の取扱いに合わせ、本会においても、改元日以降は全年度を通じて「令和元年度」と表記すること等が承認された。

3. 6/15(土) (県医) 県医師会定例代議員会及び総会等について

関連団体と調整の上、県医師協同組合総代会（14：30～）、県医師連盟執行委員会（15：00～）、県医師会定例代議員会（15：30～）、県医師会総会（17：00～）及び懇親会（18：00～）を開催することが承認された。

4. 6/1(土) (鹿児島) 九州医師会連合会第376回常任委員会並びに九州ブロック日医代議員連絡会議の開催について

日医代議員の河野会長、濱田・山村副会長、吉田常任理事に加え、日医委員会報告（予防接種・感染症危機管理対策委員会）のため峰松理事が出席することが承認された。また常任委員会の提案事項等の取扱いは河野会長に一任することとなった。

5. 本会外の役員等の推薦について

①「新人看護職員研修推進協議会」委員の就任について

→新人看護職員研修事業の円滑な推進を目的に設置される協議会で、任期満了に伴う推薦依頼があり、引き続き看護担当の佐々木(幸)常任理事を推薦することが承認された。

②生活福祉資金「貸付審査等運営委員会」の委員への推薦について

→生活福祉資金貸付制度の適正な運営を図るために設置される委員会で、任期満了に伴う推薦依頼があり、引き続き立元理事を推薦することが承認された。

③第69回“社会を明るくする運動”宮崎県推進委員会委員への就任及び同推進委員会への出席について

→犯罪や非行を防止すると共に罪を犯した人たちの更正に理解を深め、明る

い地域社会を築くことを目的に設置される委員会で、宮崎県の推進委員会の委員に、河野会長が就任することが承認された。

6. 業務委託について

①平成31年度産業医研修事業の実施について

→産業医研修大綱及び産業医研修事業委託要綱に基づき、産業医研修連絡協議会の設置と研修会を行う事業で、契約を締結することが承認された。

②県立学校の職員を対象とする長時間勤務職員に対する面接指導に係る委託契約について

→1か月あたりの超過勤務が80時間を超え、面接を希望する職員等を対象に行われる面接指導で、1件8,640円(10月以降8,800円)で締結することが承認された。しかし指導実績が無いこと等から、実施方法の見直しを要望することとなった。

③平成31年度県立学校健康管理医報酬額について

→県立学校の教職員の健康管理に対する報酬で、学校の職員数に応じて6つに区分されており、昨年と同額の報酬額とすることが承認された。

7. 宮崎県感染症発生動向調査事業における指定届出機関の推薦について

小林保健所管内の小児科を標榜する医療機関から、指定辞退の申し出があったことから、新たに二口子供医院を推薦することが承認された。

(報告事項)

1. 週間報告について

2. 4/3(水)(日医)日医学術推進会議について

3. 4/10(水)(支払基金)支払基金幹事会について

4. 4/11(木)(県医)都道府県医師会税制担当理事連絡協議会について

5. 4/6(土)(宮観ホテル)宮崎県臨床研修医説明会/新研修医祝賀会について

6. 4/7(日)(鹿児島)九州各県医師会診療報酬担当理事連絡協議会について

7. 4/12(金)(県医)九州厚生局宮崎事務所との保険医療機関の指導計画等打合せについて

8. 4/15(月)(県医)広報委員会について

9. 4/4(木)(県医)県プライマリ・ケア研究会学術広報委員会について

10. 4/5(金)(日医)日医勤務医委員会について

11. 4/11(木)(東京)地域医療介護総合確保基金(医療分)ヒアリングについて

12. 4/15(月)(県医)県臨床研修・専門研修運営協議会について

13. 4/4(木)(日医)都道府県医師会産業保健担当理事連絡協議会について

14. 4/6(土)(鹿児島)九医連救急・災害医療担当理事連絡協議会について

15. 4/6(土)・7(日)(鹿児島)九州ブロック災害医療研修会について

医師連盟関係

(議決事項)

1. 6/15(土)(県医)県医師連盟執行委員会について

県医師会定例代議員会と同日、主に平成30年度収支決算及び参議院議員選挙への対応等を協議する執行委員会を開催することが承認された。

2. 6/28(金)(シーガイア)衆議院議員「武井俊輔国政報告会」のご案内について

佐喜眞淳 前沖縄県宜野湾市長を招き開催する国政報告会で、協力することが承認された。

平成31年4月23日(火) 第1回全理事協議会**医師会関係****(議決事項)****1. 会費減免申請について**

疾病1名(日医と県医)及び高齢1名(日医のみ)の会費減免が承認された。

2. 平成31年度「宮崎県医療功労者知事表彰」候補者の推薦について

医療業務及び医療の推進に精励し格段の功績があった方に対して贈られる表彰で、候補者の経歴及び選考基準等の再確認のため、次回以降に協議することとなった。

3. 本会外の役員等の推薦について**①宮崎県再犯防止推進計画検討協議会の委員の推薦について**

→「再犯の防止等の推進に関する法律」の制定を踏まえ、本県の再犯防止推進計画策定のために設置される協議会で、荒木常任理事を推薦することが承認された。

②公益財団法人宮崎県移植推進財団役員の任期満了に伴う理事の推薦について

→移植医療の普及啓発及び体制整備等を目的に設置される財団で、任期満了に伴う推薦依頼があり、引き続き濱田副会長を推薦することが承認された。

③平成31年度宮崎県学校保健会役員について

→異動等に伴う任期途中の役員変更等の確認依頼があり、県学校保健会理事に山村副会長、監事に佐々木(究)理事を推薦することが承認された。

4. 後援・共催名義等使用許可について

①「第22回九州ブロック介護福祉士研修会 in みやざき」の名義後援申請について
→「命よ輝け!～今を生きる, 生と死から教わること～」をテーマに, 生死観を養うことによって心身の状況に応じた介護を行うことを目的に開催する研修会で, 名義後援を行うことが承認された。

②平成31年度認定アスレティックトレーナー養成講習会の名義後援申請について
→スポーツ振興や競技能力向上につながるよう, スポーツに親しむ人の健康管理を行うスタッフの育成等を目的に開催される講習会で, 名義後援を行うことが承認された。

5. 6/23日(日医)第145回日本医師会定例代議員会の開催について

主に平成30年度決算及び令和2年度会費賦課徴収を審議する代議員会で, 河野会長, 濱田・山村副会長, 吉田常任理事が出席することが承認された。

6. 6/25(火)令和元年度第1回各郡市医師会長協議会の開催について

令和元年度, 第1回目の各郡市医師会長協議会で, 5月21日(日医)の都道府県医師会長協議会及び日本医師連盟執行委員会の報告に加え, 羽生田参議院議員の来会も調整の上開催することが承認された。

7. 2020年(令和2年)九州医師会連合会担当県としての準備について

担当県として主催する諸行事の日程及び会場の予約状況, 取扱い旅行会社, 九州医師会医学会の企画等の確認が行われた。今後, 各郡市医師会等に協力を求めると共に委員会等を開催して準備を進める

ことが承認された。

8. 業務委託について

①平成31年度医療労務管理支援事業の受託依頼について

→医療従事者の勤務環境改善に係る取り組みを推進するため、周知・広報活動、相談及び個別支援、研修会の運営等を行う事業で、契約を締結することが承認された。

②県立学校の児童・生徒を対象とする心臓検診の委託契約について

→主に県立学校の1年生を対象に行われる心臓検診の委託契約で、生徒1人当たり税込2,268円（10月以降税込2,310円）、事務手数料税込80円（10月以降税込81円）で契約を締結することが承認された。

③県立学校児童生徒の定期健康診断における結核健康診断業務の委託契約について

→学校医が、定期健康診断の間診等で、結核健診が必要と認めた場合に行われる検査で、委託契約を締結することが承認された。

9. ピンクリボン活動みやざき賛同団体継続確認及び協賛金・グッズ購入のご協力について

主に乳がんの早期発見・診断・治療の重要性を訴える活動で、引き続き賛同団体となること及び協賛することが承認された。

10. 6/12(水) (日医) 令和元年度都道府県医師会医師偏在対策・働き方改革担当理事連絡協議会の開催について

医師偏在対策と働き方改革は密接に関連することから、関係者で情報共有を図ることを目的に開催される協議会で、金丸常任理事の出席と、池井常任理事がTV会議を用いて受講することが承認された。

11. 5・6月の行事予定について

5月の追加行事の確認が行われ、5月及び6月の行事を承認した。

(報告事項)

1. 4/17(水) (県医) 広報委員会について

2. 4/18(木) (県医) 病院部会・医療法人部会合同理事会について

3. 4/22(月) (県医) 県糖尿病対策推進会議小幹事会について

4. 介護医療院に関するアンケート調査について

5. 3/27(水) (宮崎労働局) 労災診療指導委員会について

6. 3/24(日) (県医) 県ロコモティブシンドローム予防講演会について

7. 3/20(水) (県庁) 県母子保健運営協議会について

8. 4/22(月) (県医) 子育て支援フォーラムに関する打合せについて

9. 4/6(土) (日医) 日医医師会将来ビジョン委員会について

10. その他

① 4/23(火) (九州厚生局宮崎事務所) 九州地方社会保険医療協議会について

医師協同組合理事・運営委員合同協議会関係 (報告事項)

1. 4/23(火) (県医) 医協理事会について

あなたできますか？ (解答)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
b	e	e	b, d	b, d	c	c	c	b	c, d

県 医 の 動 き

(5月)

7	治験審査委員会（荒木常任理事他） 第3回常任理事協議会（会長他）	22	県保険者協議会（濱田副理事長） 広報委員会（荒木常任理事他）
8	支払基金幹事会（会長）	23	医家芸術展世話人会（濱田副会長他） 県建設業協会創立70周年記念祝賀懇談会 （会長） 県認知症高齢者グループホーム連絡協議 会理事会（石川常任理事） （日医）日医予防接種・感染症危機管理対 策委員会（峰松理事）
9	宮大医学部認定再生医療等委員会（立元理事） 県産婦人科医会常任理事会（嶋本理事） 在宅医療研修会企画小委員会（石川常任理事）	24	県整形外科医会会計監査 認知症サポート医・かかりつけ医スキル アップ研修会（TV会議）（石川常任理事）
10	（鹿児島）九医連事務局長連絡協議会 （日医）日医医師会共同利用施設検討委員 会（山村副会長）	25	自見はなこ参議院議員国政報告会（会長他） 死体検案研修会（会長他）
11	県内科医会総会・講演会（金丸常任理事）	26	県小児科医会総会・春季学術講演会 （高村常任理事他） 日医かかりつけ医機能研修制度応用研修 会（日医TV会議）
12	参議院議員長峯誠君を励ます会 （山村常任執行委員）	27	在宅医療協議会役員会（石川常任理事）
13	県総合計画審議会・専門部会合同会議（会長） 産業医部会理事会（会長他）	28	九州地方社会保険医療協議会宮崎部会 （小牧常任理事） 第2回全理事協議会（会長他） 医協理事・運営委員合同協議会 （河野理事長他）
14	医協理事会（河野理事長他） （福岡）九州ブロック医師の育成を考える 会総会（金丸常任理事） 第4回常任理事協議会（会長他）	29	宮大医学部医の倫理委員会（立元理事） （日医）日医小児在宅ケア検討委員会 （高村常任理事） 労災診療指導委員会（川野理事） 労災部会会計監査
15	広報委員会（荒木常任理事他）	30	医協理事会（河野理事長他） 県医監事監査（会長他）
16	学校医部会理事・評議員会（会長他） 県訪問看護ステーション連絡協議会役員 会（池井常任理事）	31	県医療介護推進協議会（会長他） 県医療審議会（会長他） 県整形外科医会理事会 （日医）日医医療秘書認定試験委員会 （池井常任理事）
17	地域医療現場における働きやすい環境を 考える会（荒木常任理事） （日医）都道府県医師会勤務医担当理事連 絡協議会（岩村理事）		
18	産業医部会総会・研修会（TV会議）（会長他）		
19	（京都）日本プライマリ・ケア連合学会総 会・ブロック支部長会議（金丸常任理事）		
20	医協会計監査（河野理事長他）		
21	医師国保組合理事会（秦理事長他） （日医）都道府県医師会長協議会（会長） （日医）日医連執行委員会（河野委員長）		

お知らせ

第20回 宮崎県医師会医家芸術展

「会員先生方の優秀な作品を一堂に展示し、作品を通じて県民との交流を図ると共に、創作する喜びや鑑賞する楽しさを味わえる開かれた芸術展」をテーマに、平成12年より始めました宮崎県医師会医家芸術展を、本年も県立美術館にて開催いたします。

前は、年度末のご多忙な時期にも関わらず876名の皆様にご来場いただきました。

今年は下記の日程で開催いたします。多くの皆様のご来場を心よりお待ちしております。



(前回会場風景)

展示期間：令和元年9月4日(水)～8日(日) 10時～18時（8日のみ15時まで）

場 所：宮崎県立美術館2F県民ギャラリー（宮崎市船塚3-210 県総合文化公園内）

部 門：書道、絵画、写真

出 展 者：宮崎県医師会員・ご家族（高校生以上）

問合せ先：宮崎県医師会医家芸術展事務局

TEL：0985-22-5118 FAX：0985-27-6550

追 悼 の こ と ば

宮崎市郡医師会

木佐貫 健 一 先生

(昭和11年11月8日生 82歳)

弔 辞

本日ここに、今は亡き、木佐貫健一先生のご霊前に、宮崎市郡医師会を代表して、謹んでお別れの言葉を申し上げます。

この度の先生の突然のご訃報に接し、会員一同、深い悲しみに包まれております。

今、こうして葬送の列に加わり、ご遺族の皆様方、また先生を慕われる多くの皆様のご心中をお察し申し上げますとき、お悲しみは如何ばかりかと胸塞がる思いでございます。

先生は、昭和11年11月8日、鹿児島県肝属郡佐多町でお生まれになり、幼少にしてその才誉れ高く、長じて医学の道に志を立てられ、昭和37年3月、熊本大学医学部を優秀な成績で卒業になりました。その後、国立相模原病院において1年間の実地修練を終了され、昭和38年4月から昭和42年3月まで、熊本大学大学院医学研究科において更に医学の研鑽に励まれました。大学院をご卒業されてからは、熊本大学産婦人科研究生として国家公務員共済会中央病院にご勤務された後、今村病院、熊本大学医学部、水俣市立病院等で幾多の修練を積まれました。昭和53年4月には宮崎の地でご開業を決意され、宮崎市中村西2丁目にて木佐貫産婦人科医院をご開業されました。平成元年に現在の宮崎市恒久に移転され、以来今日まで、医師として長年にわたりひたすら医療現場の第一線において、昼夜の別なく献身的にご診療に従事され、明日を担う多くの新しい生命の誕生を見守られて、多くの母子に慈父の如く慕われてきました。先生の誠実で飾り気のない、そしてその温かいお人柄は、地域の人々にも親しまれ、多くの患者さんから信望を集め、地域に根ざした診療活動は、我々医師会員にとりま



して、正に範たるものでありました。

先生は、ご多忙なご診療の傍ら、医師会活動にも積極的に参加され、平成12年から平成16年3月まで宮崎市郡産婦人科医会役員を4年間務められ、産婦人科医療の向上発展のためにご尽力いただきました。また、子宮がん検診・乳がん検診等の女性特有のがん検診実施医療機関として、優れた識見と熱意を以て、疾病の早期発見のため率先して検診に尽力され、在宅当番医制度におきましても自ら日曜・祝日における在宅当番を引き受けるなど、永きにわたり地域医療のために力を注がれました。その公衆衛生・保健に対するご功績が認められ、平成28年11月には公衆衛生事業功労として宮崎県知事表彰を受賞され、平成30年2月には同じく公衆衛生事業功労として厚生労働大臣表彰を受賞されておられます。

一方、ご診療を離れられた先生は、園芸をご趣味にしておられ、特に胡蝶蘭や桜がお好きで、お忙しい中でも、花々を愛でる心を大切にされるお方であったとお聞きしております。ご家庭にありましては、お二人のご子息に恵まれ、お二人ともに医師としてご活躍中で、ご長男の隆先生はご立派に先生のご意志を継がれておりますので、後顧の憂いなきものと存じます。

先生がご逝去されましたことは、会員にとりましてかけがえのない財産を失うことであり、誠に残念至極に存じますが、私ども会員一同は、先生のご遺志を継いで地域医療の充実に、なお一層の努力をいたしてまいりたいと存じます。

木佐貫先生、惜別の情尽くし得ませんが、ここに謹んで先生のご霊前に哀悼の意を捧げ、地域医療に対する永年のご功績に心から感謝と敬意を表し、ご冥福をお祈り申し上げ、お別れの言葉といたします。

木佐貫先生、どうぞ安らかに眠りください。

平成31年4月16日

公益社団法人 宮崎市郡医師会

会長 川 名 隆 司

追 悼 の こ と ば

延岡市医師会

黒瀬 明 治 先生

(昭和8年11月3日生 85歳)

弔 辞

ここに、今は亡き黒瀬
明治先生のご葬儀が執り
行われるにあたり、延岡
市医師会を代表いたしま
して、謹んで哀悼の意を
表し、お別れの言葉を申
上げます。



先生はかねてより病気療養中のところ、14
日の朝、お亡くなりになったとの知らせに驚
き、そして今は、私共医師会の重鎮ともいうべ
き先生を、失った悲しみと、さみしさで申し上げ
る言葉もございません。

ましてやご家族、ご遺族、先生を慕われる多
くの皆様のお悲しみは如何ばかりかとお察し申
上げ、衷心よりお悔やみ申し上げます。

先生は、昭和8年11月3日に生を受けられ
まして、昭和35年、熊本大学医学部をご卒業
されておられます。その後、熊本大学第二外科
へ入局後、昭和42年には、国立熊本病院の勤
務を経られ、昭和43年には、延岡へお戻りにな
り、黒瀬病院のご勤務となり、その後理事長
となられました。

先生は昼夜を問わず献身的な診療にあたられ
まして、地域医療に深い関心と信念を持ち、延
岡の代表的な外科医として絶大なる信頼と尊敬
を受けておられました。

さらには、平成3年に延岡では最初の老人保
健施設となる「昭和苑」を併設するなど、延岡
の中間施設としての役割を長年にわたりご尽力
賜りました。

さらに、先生はご多忙な診療の傍ら、昭和
55年からの6年間、延岡市医師会理事となら
れ、医師会事業運営にも大変なご尽力をいただ
いております。

また、先生は地域医療に従事しながら、昭和
45年から平成28年までの45年間という長きに
わたり、宮崎県立延岡工業高校の学校医とし
て、多数の生徒の保健衛生、並びに健康管理の
指導教育にもご尽力を賜りました。

先生のこれまでのご功績といたしまして、平
成21年に宮崎県学校保健学校安全に関する功
労、平成26年には日本医師会の公衆衛生事業
功労、さらには、平成28年に厚生労働大臣表
彰、等々、輝かしい数々の表彰を受賞されてお
られます。

このような延岡市医師会歴史の創設者の一員
としておられました先生がご逝去なさいました
ことは、会員にとりましてかけがえのない財産
を失うことであり、痛恨の極みであります。

本日、先生とお別れするにあたり、先生がこ
れまで地域医療に尽くしてこられたご功績を忘
れることなく、会員一同、地域医療の発展向上
に一層の努力をしていく所存でございます。

先生の温顔に再び接することはできません
が、ご家族をはじめ、ご遺族の皆様のご安泰を
お見守りいただきますようお願い申し上げ、黄
泉路が平穏でありますことを心よりお祈りし、
お別れの言葉といたします。

黒瀬明治先生、どうぞ安らかに眠りください。

平成31年 4 月 16 日

延岡市医師会

会長 吉 田 建 世

医療機関の経営者・管理者の皆様へ

医療勤務環境 改善支援センターを ご利用ください

県下の社会保険労務士と医業経営コンサルタントが県内の医療機関からの医療勤務環境の相談内容に応じて専門的な助言・支援を行います。

医療労務管理相談

- スタッフが長く、安心して働ける職場にしたい!
- 育児・介護中の休み方、働き方は?
- 医師の負担を軽減させたい…

医業経営面

- スタッフのキャリアを磨きたい!
- 補助制度を上手に活用したい。
- 効率良く、経営を安定させたい。

相談
無料



まずは、お電話ください。

宮崎県医療勤務環境改善支援センター

公益社団法人宮崎県医師会内

月曜～金曜 午前10時から午後4時まで

TEL.0985-20-1211

FAX.0985-27-6550

E-mail iryou-kinmukaizen@miyazaki.med.or.jp

ドクターバンク情報

(無料職業紹介所)

令和元年5月7日現在

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク（求人・求職等の情報提供）を設置しております。登録された情報は、当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。

現在、下記のとおり情報が寄せられております。お気軽にご利用ください。

お申し込み、お問い合わせは当紹介所へ直接お願いいたします。

また、宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらましを紹介しておりますのでご覧ください。

1. 求職者登録数 6人

1) 男性医師求職登録数 6人 (人)

希望診療科目	求職数	常勤	非常勤
内科	4	2	2
麻酔科	1	0	1
老年健	1	1	0

2) 女性医師求職登録数 0人 (人)

希望診療科目	求職数	常勤	非常勤
	0	0	0

2. 斡旋成立件数 71人 (人)

	男性医師	女性医師	合計
令和元年度	1	0	1
平成16年度から累計	51	20	71

3. 求人登録 97件 358人 (人)

募集診療科目	求人数	常勤	非常勤	募集診療科目	求人数	常勤	非常勤
内科	104	81	23	消化器外科	4	2	2
外科	30	24	6	乳腺外科	3	3	0
整形外科	30	24	6	健診	8	5	3
精神科	14	13	1	泌尿器科	4	2	2
脳神経外科	12	8	4	産婦人科	1	1	0
循環器科	11	8	3	検診	3	1	2
消化器内科	16	13	3	皮膚科	5	2	3
麻酔科	16	12	4	婦人科	2	2	0
眼科	10	7	3	呼吸器外科	4	3	1
放射線科	12	11	1	人工透析	7	5	2
小児科	4	2	2	リウマチ科	1	1	0
呼吸器科	3	3	0	臨床病理科	1	1	0
在宅診療	2	2	0	形成外科	2	1	1
総合診療科・内科	5	4	1	診療科目不問	3	3	0
神経内科	8	6	2	緩和ケア	1	1	0
呼吸器内科	10	9	1	内分泌糖尿病内科	2	2	0
リハビリテーション科	4	4	0	その他	7	6	1
救命救急科	9	9	0	合計	358	281	77

求 人 登 録 者 (公 開)

※求人情報は、申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合、
無料職業紹介所（ドクターバンク）へお申し込み下さい。

※下記の医療機関は、公開について同意をいただいております。

登録番号	施設名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
160011	赤十字センター	宮崎市	検診	3	常勤・非常勤
160013	医)三晴会 金丸脳神経外科病院	宮崎市	脳外,整,放,麻,内	9	常勤・非常勤
160017	医)プレストピアプレストピア宮崎病院	宮崎市	乳外,放,麻	3	常勤
160020	財)弘潤会 野崎病院	宮崎市	精,内	2	常勤
160031	社医)同心会 古賀総合病院	宮崎市	呼内,神内,総診,呼外,病理, 乳外,整,麻,代内	9	常勤
160033	医)如月会 若草病院	宮崎市	精	1	常勤
170046	医)社団善仁会 市民の森病院	宮崎市	消内,内分泌内,呼内,リウ, 神内,健診	9	常勤・非常勤
170048	医)慶明会 けいめい記念病院	国富町	内,放	2	常勤
180082	国立病院機構宮崎東病院	宮崎市	内,神内,整,消内,腫内	5	常勤
190087	宮崎市郡医師会病院	宮崎市	消内,呼内,総診	6	常勤
190094	医)耕和会 迫田病院	宮崎市	内,外	2	常勤
190095	医)慶明会 宮崎中央眼科病院	宮崎市	眼	1	常勤
200104	医)社団善仁会 宮崎善仁会病院	宮崎市	内,外,救急,呼外,婦人,整,麻	12	常勤
200105	医)誠友会 南部病院	宮崎市	外,内,放	3	常勤
210110	医)幸秀会 大江整形外科病院	宮崎市	整	1	常勤
210128	医)真愛会 高宮病院	宮崎市	精	2	常勤
230134	医)慈光会 宮崎若久病院	宮崎市	精	2	常勤
230139	介護老人保健施設 サンフローラみやざき	国富町	内,外	2	常勤
230143	医)社団孝尋会 上田脳神経外科	宮崎市	脳外,内	2	常勤
230144	宮崎生協病院	宮崎市	呼内,消内,健診,麻	7	常勤・非常勤
230146	財)潤和リハビリテーション振興財団 潤和会記念病院	宮崎市	内,外,整,脳外,リハ,麻,救急, 緩和	13	常勤
230148	医)コムロ美容外科	宮崎市	美外,形成外,外,麻	8	常勤・非常勤
230161	医)健心会 滝口内科医院	宮崎市	内,皮	2	非常勤
230164	宮崎県保健所	宮崎市	公衆衛生	3	常勤
230175	社会福祉法人 キャンパスの会	宮崎市	内,小,整(いずれか)	1	常勤
230177	医)社団尚成会 近間病院	宮崎市	内,消内,消外,放(いずれか)	1	常勤
230178	介護老人保健施設 むつみ苑	宮崎市	内	1	常勤
230180	一社)藤元メディカルシステム 藤元中央病院	宮崎市	内,糖内,呼内,血内	4	常勤
230184	グリーンケア学園木花台	宮崎市	内	1	非常勤
230185	医)朋詠会 獅子目整形外科病院	宮崎市	整,内	2	常勤
230193	医)共生会 杉田眼科医院	宮崎市	眼	1	非常勤
230194	医)財団シロアム 新城眼科医院	宮崎市	眼	2	常勤
230196	医)社団高信会 辰元病院	高岡町	内	1	常勤
160010	特医)敬和会 戸嶋病院	都城市	内,消内,整,神内	7	常勤・非常勤
160018	医)宏仁会 メディカルシティ東部病院	都城市	内,放,脳外,外,眼,透,皮,腎内	22	常勤・非常勤
170057	医)清陵会 隅病院	都城市	内,外,整	3	常勤
180064	国立病院機構都城医療センター	都城市	呼内,総診,消内,腫内	4	常勤
180081	医)恵心会 永田病院	都城市	精	2	常勤・非常勤
190092	都城市郡医師会病院	都城市	内,呼内,消内	5	常勤
210114	藤元病院	都城市	精,内	3	常勤
230127	医)倫生会 三州病院	都城市	消内,消外,乳外	5	常勤・非常勤
230137	医)宏仁会 海老原内科	都城市	内	1	常勤
230142	医)魁成会 宮永病院	都城市	内,リハ	2	常勤
230153	都城健康サービスセンター	都城市	放,消内	1	常勤

登録番号	施設名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
230162	藤元総合病院	都城市	内,透,循内,救急,放,呼内	12	常勤
230172	医)静雄会 藤元上町病院	都城市	内	2	常勤
230179	医)与州会 柳田病院	都城市	外	1	常勤
230181	介護老人保健施設 はまゆう	三股町	内	1	常勤
230183	医)恵心会 坂元医院	都城市	消内,老人内,内	5	常勤・非常勤
230191	医)森山内科・脳神経外科	都城市	内	1	非常勤
230192	医)社団明晴会 速見泌尿器科内科医院	都城市	内	1	常勤・非常勤
230199	医)社団アブラハムクラブベテスタクリニック	都城市	糖内,心内	2	常勤
230202	医)啓仁会 城南病院	都城市	内	1	常勤
160012	医)伸和会 共立病院	延岡市	外,整,放,内	6	常勤
160021	医)建悠会 吉田病院	延岡市	精,内	3	常勤・非常勤
160034	特医)健寿会 黒木病院	延岡市	消内,消内	4	常勤・非常勤
190086	早田病院	延岡市	消外,循内	2	常勤
200100	医)育生会 井上病院	延岡市	産婦,内,小	3	常勤・非常勤
200102	延岡市医師会病院	延岡市	消内,消外,内	3	常勤
210109	延岡市夜間急病センター	延岡市	内,小	2	非常勤
230156	医)中心会 野村病院	延岡市	内,外	2	常勤
230186	医)隆誠会 延岡保養園	延岡市	精	1	常勤
230189	特医)健腎会 おがわクリニック	延岡市	泌,透	4	常勤・非常勤
160039	医)誠和会 和田病院	日向市	外,整	4	常勤
210111	宮崎県済生会 日向病院	門川町	内,麻	3	常勤
230147	美郷町国民健康保険西郷病院	美郷町	内,整	2	常勤
230152	美郷町国民健康保険南郷診療所	美郷町	内,整	2	常勤
230160	日向市立東郷病院	日向市	内,整	2	常勤
230200	医)おざきメディカルアソシエイツ尾崎眼科	日向市	眼	1	常勤・非常勤
230201	医)洋承会 今給黎医院	日向市	内,循内	2	常勤
160006	都農町国保病院	都農町	内,放,外,健診	5	常勤・非常勤
160023	医)宏仁会 海老原総合病院	高鍋町	内,腎内,麻,総診,外,整,脳外,眼,健診	13	常勤・非常勤
230187	国立病院機構宮崎病院	川南町	呼内,循内,糖内,神内,小,整	12	常勤・非常勤
160024	医)隆徳会 鶴田病院	西都市	内	1	常勤
150002	医)慶明会 おび中央病院	日南市	内	4	常勤・非常勤
150003	医)同仁会 谷口病院	日南市	内	1	非常勤
160022	医)愛鍼会 山元病院	日南市	内	1	常勤
160037	医)十善会 県南病院	串間市	精,内	2	常勤
170047	日南市立中部病院	日南市	内,外,整,在宅	4	常勤
180071	串間市民病院	串間市	内,外,総診,消内,腎内	5	常勤
230149	介護老人保健施設 おびの里	日南市	内	1	常勤
230166	医)秀英会 介護老人保健施設 長寿の里	串間市	内	1	常勤
230168	医)月陽会 きよひで内科クリニック	日南市	内	7	常勤・非常勤
230188	医)春光会 日南春光会病院	日南市	外,内	4	常勤・非常勤
230198	小玉共立外科	日南市	不問	2	常勤・非常勤
160019	医)相愛会 桑原記念病院	小林市	内,皮	4	常勤・非常勤
170043	医)和芳会 小林中央眼科	小林市	眼	2	常勤・非常勤
180067	小林市立病院	小林市	救急,総診,放,麻	6	常勤
180076	医)けんゆう会 園田病院	小林市	外,循内,整,脳外	9	常勤・非常勤
190090	特医)浩然会 内村病院	小林市	精	1	常勤
190091	医)友愛会 野尻中央病院	小林市	整,内,脳外	6	常勤・非常勤
230167	介護老人保健施設 さわかセンター	小林市	内	1	非常勤
230169	医)連理会 和田クリニック	小林市	内	2	常勤
230197	医)友光会 整形外科押領司病院	小林市	整,内,麻	5	常勤・非常勤
170049	五ヶ瀬町国民健康保険病院	五ヶ瀬町	内,外	2	常勤
180070	高千穂町国保病院	高千穂町	内,透	3	常勤
190088	日之影町国保病院	日之影町	内,外(いずれか)	1	常勤

病医院施設の譲渡・賃貸

◆譲渡, 賃貸希望の物件を紹介いたします。

令和元年5月7日現在

1. 譲渡物件	① 宮崎市阿波岐ヶ原町前田2633番,2634番 土地のみ:2,022.17㎡ (612.77坪)	所有者:児湯医師会員 (医) 崧雲会 林クリニック
	② 西都市中央町2丁目6番地 土地:2,280.83㎡ (691.16坪) 建物:鉄筋コンクリート造陸屋根3階建 1階 674.74㎡ } 2階 547.79㎡ } 1,400.48㎡ (424.38坪) 3階 177.95㎡ } ※別途駐車場あり(20台)	所有者:西都市西児湯医師会員 図師医院跡
	③ 小林市細野59-1 土地:1,098.23㎡ (322.79坪) 建物:鉄筋コンクリート造陸屋根2階建 1階 188.00㎡ } 2階 96.00㎡ } 284.00㎡ (86.06坪) ※駐車場あり(29台)	所有者:西諸医師会員 (医) 桑原皮膚科医院跡
2. 譲渡又は 賃貸物件	① 小林市南西方49番地1 土地:1,991.34㎡ (603.43坪) 建物:鉄筋コンクリート造陸屋根2階建 1階 471.41㎡ } 2階 638.35㎡ } 1,109.76㎡ (336.29坪) ※駐車場あり(30台)	所有者:(医) 社団 産婦人科 生駒クリニック跡
	② 児湯郡川南町大字平田1402-74 土地:4,449㎡ (1,348.18坪) 建物:鉄骨セメント造平屋建 1階 825.66㎡ (250.20坪) ※駐車場あり(70台)	所有者:児湯医師会員 (医) 崧雲会 林クリニック
3. 賃貸物件	① 延岡市無鹿町1丁目710 土地:1,654.58㎡ (501.38坪) 建物:鉄筋コンクリート造陸屋根4階建 1階 145.76㎡ } 2階 338.70㎡ } 829.40㎡ (251.33坪) 3階 330.69㎡ } 4階 14.25㎡ } ※駐車場あり(50台)	所有者:(医) 社団 隆豊会 江崎医院跡
	② 西臼杵郡高千穂町大字上野264番地 土地:875㎡ (265.15坪) 建物:木造瓦葺平屋建 1階 114㎡ (34.54坪) ※駐車場あり(20台)	所有者:西臼杵郡医師会員 後藤医院跡

ドクターバンク無料職業紹介所利用のご案内

1. 取扱範囲は宮崎県内全域です。但し、求職者は県外でも結構です。
2. 紹介受付は、月～金の9時～12時及び13時～17時です。
3. 申込み方法は、所定の用紙「求職票」「求人票」にご記入後登録させていただきます。
4. ご希望に沿った先を斡旋させていただきます。
5. 求職者の紹介時には各医療機関で医師免許等のご確認をお願いいたします。
6. 斡旋成立時の紹介料は、「求人」「求職」いずれも無料です。

お問合せ先

ドクターバンク無料職業紹介所

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地(宮崎県医師協同組合)

TEL 0985-23-9100(代)・FAX 0985-23-9179

E-mail: isikyoun@mizazaki.med.or.jp

日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています

宮崎県医師会広報委員会

E-mail : genko@miyazaki.med.or.jp

FAX : 0985-27-6550

TEL : 0985-22-5118

日州医事では、読者の皆様から広くご意見・ご感想・ご要望をお待ちしています。本誌に対するご感想や、読みたい記事のご提案など、忌憚のないご意見を是非お寄せください。

なお、いただいたご意見は「読者の広場」として日州医事上で匿名にて紹介させていただくことがあります。掲載を希望されない場合はその旨お知らせください。

注：FAXの際は、このページを切り取り、裏面の原稿用紙もご利用になれます。

宮崎県医師会広報委員会 行 FAX : 0985-27-6550

きりとりせん

お名前：

ご所属：

TEL：

FAX：

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

令和元年 5 月 29 日

6		月	
1	土	16:00 (鹿児島) 九医連常任委員会	14 金 15:00 (愛媛) 全国国保組合協会通常総会
		16:00 (日医) 日医医師会将来ビジョン委員会	15 土 14:30 医協通常総代会
2	日	17:00 (鹿児島) 九州ブロック日医代 議員連絡会議	15:00 県医連執行委員会
		14:00 (福岡) 日本プライマリ・ケア 連合学会九州支部役員会	15:30 県医定例代議員会
3	月	14:00 総合確保基金長峯参議院議員への要望	16 日 17:00 県医総会
		19:00 勤務医部会理事会	17 月
4	火	15:00 県学校保健会理事・評議員会	18 火 14:00 県移植推進財団評議員会
		16:00 学校保健・学校安全に係る表彰審査会	19:00 第5回常任理事協議会
		17:00 医師キャリア形成及び宮崎県地域 医療の充実に向けた関係者協議 治験審査委員会	19 水
		18:00 第1回理事会	20 木 15:40 (東京) 日本学校保健会理事会
5	水	19:00 終了後 第3回全理事協議会	19:00 園医部会理事会
		終了後 医協理事・運営委員合同協議会	19:00 医師国保組合定例事務監査
6	木	13:00 (東京) 全国医師国保組合連合 会代表者会	21 金 17:30 西諸医師会定時総会
		19:30 日本産科婦人科学会専門医制度 地方委員会	19:00 広報委員会
7	金	14:00 (日医) 日医産業保健委員会	22 土 14:00 県小児科医学会子ども健康セミナー
		17:30 宮大医学部附属病院マッチング説明 会&県内基幹型臨床研修病院説明会	15:00 宮崎市郡医師会総会
8	土	10:00 (東京) 地域医療構想アドバイザー会議	19:00 (東京) 九州ブロック日医 代議員連絡会議懇談会
		15:00 (日医) 日医公衆衛生委員会	9:00 人体シミュレータを用いた 在宅医療研修会
9	日	19:00 県医医学会役員会 (TV会議)	9:00 (日医) 九州ブロック日医 代議員連絡会議
		14:30 産業医研修会	9:30 (日医) 日医定例代議員会
10	月	15:00 日向市東臼杵郡医師会総会	10:00 (千葉) レジナビフェア
		10:30 (東京) 全国有床診療所連絡協 議会常任理事会	24 月 19:00 西都市・西児湯医師会総会
11	火	13:00 (東京) 全国有床診療所連絡協 議会役員会	19:00 宮崎市郡医師会予防接種 勉強会 (TV会議)
		18:30 病院部会・医療法人部会総会	18:00 九州地方社会保険医療協 議会宮崎部会
12	水	18:30 県アイバンク協会理事会	18:00 医協理事会
		19:00 県警察医会協議会	18:30 第4回全理事協議会
13	木	13:30 都道府県医師会医師偏在対策・ 働き方改革担当理事連絡協議会 (日医TV会議)	終了後 医協理事・運営委員合同協議会
		13:30 (日医) 都道府県医師会医師偏在対 策・働き方改革担当理事連絡協議会	19:00 羽生田たかし参議院議員国政報告会
		16:00 支払基金幹事会	終了後 各郡市医師会長協議会
		19:00 広報委員会	26 水 13:30 宮大経営協議会・学長選考会議
14	金	19:30 県産婦人科医会常任理事会	15:00 労災診療指導委員会
			27 木 18:30 児湯医師会総会
15	土		28 金 18:00 勤務医部会総会・前期講演会
			29 土 16:00 県専門医プログラム合同説明会
16	日		30 日

※都合により、変更になることがあります。
行事予定は県医師会のホームページからもご覧になれます。

宮崎県医師会行事予定表

令和元年5月29日

7		月		
1	月		14 日 9:00 (佐賀) 九医連常任委員会視察	
2	火	18:30 第5回全理事協議会	15 月 (海の日)	
		19:00 県福祉保健部・病院局と県医師会との意見交換会		
3	水		16 火 18:00 治験審査委員会 19:00 第6回常任理事協議会	
4	木		17 水 16:45 みやざき子育てサポート事業サポート会員養成講座	
5	金	17:15 (佐賀) 九州各県保健医療福祉主管部長・九州各県医師会長合同会議	18 木	
6	土	14:00 県整形外科医会理事会・評議員会	19 金	↑ 国 保 審 査 ↓
		15:00 (佐賀) 九州地区医師会立共同利用施設連絡協議会	20 土 16:00 (福岡) 九州医師協同組合連合会購買・保険部会	
		15:30 県外科医会理事会	21 日 9:00 人体シミュレータを用いた在宅医療研修会	
		15:30 県整形外科医会総会	22 月 19:00 広報委員会 19:00 医師国保組合通常組合会	
		16:10 労災部会総会	23 火 18:15 医協理事会 19:00 第7回常任理事協議会	
7	日	9:30 (福岡) 全国有床診療所連絡協議会九州ブロック役員会	24 水 14:00 (日医) 日医小児在宅ケア検討委員会	
		10:00 (佐賀) 九州地区医師会立共同利用施設連絡協議会 (大阪) レジナビフェア	25 木 15:00 (日医) 日医予防接種・感染症危機管理対策委員会	
8	月		26 金	
9	火	県地域医療対策協議会		
10	水	16:00 支払基金幹事会	27 土	↓ 社 保 審 査 ↓
		19:00 広報委員会		
11	木	14:00 (日医) 日医学術推進会議	28 日	9:00 (群馬) 全国有床診療所連絡協議会常任委員会 12:50 (群馬) 全国有床診療所連絡協議会役員会 14:00 (群馬) 全国有床診療所連絡協議会総会・講演会 14:10 (広島) 中四九地区医師会看護学校協議会
		19:30 県産婦人科医会常任理事会 20:30 新規保険医療機関への説明会		
12	金	14:00 (日医) 日医勤務医委員会	29 月	↓
		14:30 (日医) 日医医師会共同利用施設検討委員会 19:00 医師国保組合理事会		
13	土	11:30 県認知症高齢者グループホーム連絡協議会理事会	30 火 18:00 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会	
		13:30 県認知症高齢者グループホーム連絡協議会総会・研修会		
		16:00 (佐賀) 九医連常任委員会		
			31 水 15:00 労災診療指導委員会	

※都合により、変更になることがあります。
行事予定は県医師会のホームページからもご覧になれます。

医 学 会 ・ 講 演 会

日本医師会生涯教育講座認定学会

単位：日本医師会生涯教育制度認定単位数，CC：カリキュラムコード（当日，参加証を交付）

がん検診：各種がん検診登録・指定・更新による研修会 (胃)・(大腸)・(肺)・(乳)

アンダーラインの部分は，変更になったところです。

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
都城市北諸県郡医師会外科医会学術講演会 6月7日(金) 19:00~20:30 ホテル中山荘	睡眠薬の適正使用を目指してー減量方法を中心にー 宮崎県精神保健福祉センター 所長 宮崎県立宮崎病院 精神医療センター 医長 宮崎大学医学部 臨床教授 直野 慶子	20 (0.5)	◇主催 都城市北諸県郡医師会外科医会 ◇共催 武田薬品工業(株) (連絡先) 都城市北諸県郡医師会 ☎0986-22-0711
	画像診断の最前線 宮崎大学医学部附属病院 放射線科 教授 平井 俊範	15 (0.5)	
第16回宮崎膠原病リウマチ治療研究会 6月7日(金) 19:10~20:50 宮崎観光ホテル 参加費：500円	症例検討会：TNF-αによる骨芽細胞分化抑制の分子機構 宮崎大学医学部附属病院 薬剤部 教授 池田 龍二	73 (0.5)	◇主催 宮崎膠原病リウマチ治療研究会 ◇共催 ※田辺三菱製薬(株) ☎0985-32-9205
	他 リウマチ性疾患における自然免疫細胞の役割 九州大学病院 免疫・膠原病・感染症内科 講師 有信 洋二郎	18 (1.0)	
宮崎県医師会産業医研修会 6月8日(土) 14:30~16:30 県医師会館	健診および保健指導での短時間で効率的な禁煙支援ー従業員満足度を上げ健康経営を支援しようー 宮崎県立看護大学 教授 江藤 敏治	11 (1.0)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
	基礎研修の現地研修会：2単位 生涯研修の現地研修会：2単位	82 (0.5)	
		0 (0.5)	
日向市東臼杵郡医師会総会・学術講演会 6月8日(土) 16:30~17:40 日向市東臼杵郡医師会館	わが国の人口動態からー加齢と生殖ー 大分労働衛生管理センター 所長 大分大学 名誉教授 宮川 勇生	3 (0.5)	◇主催 ※日向市東臼杵郡医師会 ☎0982-52-0222 ◇共催 日向市東臼杵郡内科医会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
第78回宮崎整形外科懇話会 6月8日(土) 18:00~19:00 JA-AZMホール 参加費:1,000円	上肢末梢神経障害の診断と治療 獨協医科大学 日光医療センター 整形外科 主任教授 長田 伝重	63 (1.0)	◇主催 宮崎整形外科懇話会 ◇共催 宮崎県整形外科医会 大正富山医薬品(株) (連絡先) 宮崎大学医学部整形外科 ☎0985-85-0986
宮崎県医師会産業医研修会 6月12日(水) 14:00~16:00 県医師会館	ストレスと健康 産業保健相談員 宮崎大学医学部 名誉教授 鶴 紀子 生涯研修の専門研修会:2単位	1 (0.5) 11 (0.5) 69 (0.5) 70 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
佐土原地区医師会学術講演会 6月12日(水) 19:10~20:10 シーガイアコンベンションセンター	癌に続く国民病である心不全にどう立ち向かうべきか? かわぐち心臓呼吸器病院 副院長・循環器内科部長・内科統括部長 佐藤 直樹	12 (0.5) 15 (0.5)	◇主催 佐土原地区医師会 ◇共催 ※バイエル薬品(株) ☎0120-077-552
第11回在宅医療実践のための多職種協働研修会 6月13日(木) 19:00~20:30 県医師会館	論理的な思考が困難な介護者である息子と訪問看護とのかかわりー在宅での看取りを通してー 訪問看護ステーションのびやか 所長 赤松 峰子 看護師 多田 綾子 のぞきクリニック 院長 野崎 勝宏	80 (1.5)	◇主催 宮崎市郡在宅医会 (連絡先) 宮崎市郡医師会病院 ☎0985-24-9119
宮崎市郡内科医会学術講演会 6月13日(木) 19:05~20:05 KITEN	糖尿病治療の新時代ーエビデンスと実臨床から考えるSGLT2阻害薬とDPP-4阻害薬ー すずき糖尿病内科クリニック 院長 鈴木 大輔	2 (0.5) 82 (0.5)	◇主催 宮崎市郡内科医会 ◇共催 日本イーライリリー(株) 日本ベーリンガーインゲルハイム(株) (連絡先) 宮崎市郡医師会 ☎0985-53-3434

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
第137回宮崎市郡医師会病院心臓病研究会 6月17日(月) 18:50~20:30 宮崎観光ホテル	冠動脈疾患における超積極的脂質低下療法の意義 ー血管内イメージングのエビデンスを踏まえてー 順天堂大学医学部附属順天堂医院 准教授 土肥 智貴	75 (0.5)	◇主催 宮崎市郡医師会病院心臓病研究会 ◇共催 サノフィ(株) (連絡先) 宮崎市郡医師会病院 ☎0985-24-9119
	初めて診断した心ファブリー病からの学び ー日常診療に潜む盲点ー 霧島記念病院 循環器内科 中尾 正一郎	15 (0.5)	
西諸医師会・西諸内科医会合同学術講演会 6月17日(月) 19:00~20:30 ガーデンベルズ小林	脂質異常症の最新的话题：SPPARM α への期待 鹿児島市立病院 循環器内科 部長 宮田 昌明	75 (0.5)	◇主催 ※西諸医師会 ☎0984-23-2113 ◇共催 西諸内科医会 興和(株)
		82 (0.5)	
南那珂医師会生涯教育医学会 6月18日(火) 18:50~20:00 南那珂医師会館	神経障害性疼痛の診断と治療 宮崎大学医学部附属病院 整形外科 病院講師 濱中 秀昭	63 (1.0)	◇主催 ※南那珂医師会 ☎0987-23-3411 ◇共催 第一三共(株)
循環器疾患検討会特別講演会 6月18日(火) 19:00~20:10 ホテルJALシティ宮崎	スマートホスピタルを目指してー不整脈をITで診るー 慶應義塾大学医学部 循環器内科不整脈先端治療学 特任教授 木村 雄弘	7 (0.5)	◇主催 循環器疾患検討会 ◇共催 ※エーザイ(株) ☎0985-26-2676
		43 (0.5)	
宮崎県医師会産業医研修会 6月19日(水) 19:00~21:00 県医師会館	作業現場における暑熱環境対策 産業保健相談員 宮崎県立看護大学 教授 江藤 敏治 生涯研修の専門研修会：2単位	9 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
		11 (0.5)	
		31 (0.5)	
		32 (0.5)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
第43回宮崎CT研究会 6月22日(土) 16:30~19:00 MRT-micc 参加費:500円	AI Innovation. Made possible—AI技術の医療への展開— キヤノンメディカルシステムズ研究開発センター 臨床アプリ研究部 堤 高志	0 (0.5)	◇主催 宮崎CT研究会 ◇共催 ※バイエル薬品(株) ☎0120-077-552
	Deep Learning技術を用いた新しい再構成法—AiCEの画質評価— 宮崎大学医学部附属病院 放射線部 藤崎 凌平	9 (0.5)	
	他 最近の320列CTの進歩について 藤田医科大学医学部 名誉教授 片田 和広	9 (1.0)	
宮崎県医師会産業医研修会 6月27日(木) 14:00~16:00 県医師会館	治療と職業生活の両立 産業保健相談員 宮崎大学医学部附属病院患者支援センター センター長 鈴木 齋王 生涯研修の専門研修会:2単位	1 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
		5 (0.5)	
		7 (0.5)	
		10 (0.5)	
宮崎木曜会創立記念学術講演会(胃がん検診) 6月27日(木) 19:00~20:15 MRT-micc	除菌後胃粘膜と除菌後発見早期胃癌の内視鏡特徴像と組織像 新潟大学地域医療教育センター・ 魚沼基幹病院 消化器内科 特任教授 八木 一芳	52 (1.0) ⑦	◇主催 宮崎木曜会 ◇共催 第一三共(株) ※アストラゼネカ(株) ☎0985-38-6611
延岡医学会学術講演会 6月28日(金) 18:50~20:30 エンシティホテル延岡	モテる! 上部消化管内視鏡診断—通常・IEE観察の極意— 埼玉医科大学国際医療センター 消化器内科 准教授 野中 康一	7 (0.5)	◇主催 延岡医学会 ◇共催 宮崎県北地区消化器内視鏡懇談会 EAファーマ(株) エーザイ(株) ◇後援 延岡内科医会(連絡先) 延岡市医師会 ☎0982-21-1300
		9 (0.5)	
		53 (0.5)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
県北産婦人科医会 (6月度例会) 6月28日(金) 19:00~20:30 延岡市医師会病院	婦人科ロボット手術の現状と我々の取り組み 鹿児島大学医学部 産婦人科 教授 小林 裕明	7 (0.5) 10 (0.5)	◇主催 県北産婦人科医会 ◇共催 ※科研製薬(株) ☎0985-51-7504
令和元年度宮崎県 医師会勤務医部会 総会・前期講演会 6月28日(金) 19:00~20:40 県医師会館	革新的分子技術による生命分子機構の解明及び診断・ 治療の開発 宮崎大学医学部 機能制御学講座物質科学分野 教授 徐 岩	3 (0.5)	◇主催 宮崎県医師会勤務医部会 (連絡先) 宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
	健康的な住環境を目指して… 宮崎県建築士会 会長 松竹 昭彦	82 (0.5)	
第28回ひむか骨関 節・脊椎脊髄疾患 セミナー 6月29日(土) 15:15~18:30 シーガイアコンベ ンションセンター 参加費:1,000円	健康長寿に向けた神経障害性疼痛を含む腰痛・腰椎疾 患の実践的マネジメント -姿勢・運動指導の実際を中心に- 東京大学医学部附属病院22世紀医療センター 運動器疼痛メディカルリサーチ&マネジメント講座 特任教授 福島県立医科大学医学部疼痛医学講座 特任教授 松平 浩	59 (0.5) 77 (0.5)	◇主催 ひむか骨関節・脊椎 脊髄疾患セミナー ◇共催 ※第一三共(株) ☎0985-23-5710
	EBMに基づく医療を提供するための大規模コホート研究 -The Wakayama Spine Study- 和歌山県立医科大学 整形外科講座 教授 山田 宏	60 (0.5) 77 (0.5)	
	先天股脱が50歳になったら -あの時こうしておけばよかった- 川崎医科大学 骨・関節整形外科学 教授 三谷 茂	61 (0.5) 62 (0.5)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
九州心不全診断フォーラム 6月29日(土) 18:00~20:00 宮崎観光ホテル	OncologistとCardiologistが協力して治す心不全 新潟県立がんセンター新潟病院 腫瘍循環器科・循環器内科 内科部長 大倉 裕二	73 (0.5)	◇主催 九州心不全診断フォーラム ◇共催 ※ロシュ・ダイアグ ノスティックス(株) ☎050-3851-3665
	久山町研究における心血管病リスク予測 九州大学 医学研究院衛生・公衆衛生学分野 准教授 秦 淳	42 (1.0)	
	心不全マーカーの施設間のデータ差についての留意点 熊本大学 生命科学研究部循環器内科学 教授 辻田 賢一	9 (0.5)	
宮崎県医師会産業 医研修会 7月4日(木) 19:00~21:00 県医師会館	温熱環境等の労働衛生管理について 産業保健相談員 労働衛生コンサルタント 下津 義博	1 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
	生涯研修の専門研修会：2単位	7 (0.5)	
		9 (0.5)	
		11 (0.5)	
第5回宮崎がんの リハビリテーション 研修会(2日間) 7月6日(土) 9:00~18:10 県立宮崎病院 参加費：100,000円 (一施設あたり)	がんのリハビリテーションの概要 日南市立中部病院 リハビリテーション科 鈴木 幹次郎	9 (1.0)	◇主催 宮崎がんのリハビリ テーション研修会実 行委員会 ◇後援 宮崎県 宮崎県医師会 宮崎県歯科医師会 宮崎県看護協会 宮崎県理学療法士会 宮崎県作業療法士会 宮崎県言語聴覚士会 (連絡先) 日南市立中部病院リハ ビリテーションセンター ☎0987-27-1182
	周術期リハビリテーション 一乳がん、頭頸部がん、開胸・開腹術、脳腫瘍一 宮崎市立田野病院 黒木 洋美 宮崎善仁会病院 理学療法士 佐藤 萌都子 藤元総合病院 理学療法士 手島 建夫	24 (0.5)	
	化学療法・放射線療法の合併症とリスク管理 血液腫瘍、造血幹細胞移植に対するリハビリテーション 慶應義塾大学病院 石川 愛子	19 (0.5)	
		62 (0.5)	
	転移性骨腫瘍に対するリハビリテーション ADL・IADLに対するリハビリテーション 慶應義塾大学病院 石川 愛子 医療法人社団秀博会 作業療法士 島崎 寛将	18 (0.5)	
	24 (0.5)		

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
宮崎県外科医会・ 宮崎県整形外科医 会・宮崎県医師会 労災部会合同学会 7月6日(土) 17:00~18:00 県医師会館	医師・医療現場の働き方改革について — 医師の健康管理と地域医療への影響 — 日本医師会 常任理事 松本 吉郎	7 (1.0)	◇主催 ※宮崎県医師会労災部会 ☎0985-22-5118 ◇共催 宮崎県外科医会 宮崎県整形外科医
第5回宮崎がんの リハビリテーション 研修会(2日間) 7月7日(日) 9:00~16:30 県立宮崎病院 参加費:100,000円 (一施設あたり)	がん患者の摂食・嚥下障害, コミュニケーション障 害, 口腔ケア 藤元総合病院 言語聴覚士 岩村 秀世 日南市立中部病院 言語聴覚士 横山 茂幹	34 (0.5) 47 (0.5)	◇主催 宮崎がんのリハビリ テーション研修会実 行委員会 ◇後援 宮崎県 宮崎県医師会 宮崎県歯科医師会 宮崎県看護協会 宮崎県理学療法士会 宮崎県作業療法士会 宮崎県言語聴覚士会 (連絡先) 日南市立中部病院リハ ビリテーションセンター ☎0987-27-1182
	がん患者の心理的問題 宮崎県立宮崎病院 精神科 並木 薫	69 (0.5)	
	進行がん患者に対するリハビリテーション 宮崎市郡医師会病院 内藤 明美	81 (1.0)	
	がんの悪液質に対するリハビリテーション 宮崎善仁会病院 理学療法士 吉田 裕一郎	18 (0.5)	
	リハビリテーションにおける看護師の役割(症例検討 含む) 訪問看護ステーション なでしこ3号館 看護師 中村 久美	10 (0.5)	
2019年度宮崎市特 定健診セミナー 7月9日(火) 19:00~20:35 宮崎観光ホテル	特定健診における心電図実施の意義 名越医院 院長 名越 敏郎	73 (0.5)	◇主催 宮崎県内科医会 ◇共催 ※ファイザー(株) ☎092-281-7031 日本メドトロニック(株) プリストル・マイヤーズ スクイブ(株)
	心房細動の医療連携について 宮崎市郡医師会病院 循環器内科 科長 足利 敬一	12 (0.5)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
宮崎県医師会産業 医研修会 7月10日(水) 19:00~21:00 県医師会館	企業における受動喫煙防止対策 産業保健相談員 宮崎県立看護大学 教授 江藤 敏治 生涯研修の専門研修会：2単位	9 (0.5) 11 (0.5) 12 (0.5) 82 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
かかりつけ医と精 神科医 -Medical Collaboration Forum2019- 7月11日(木) 18:50~20:35 宮崎観光ホテル 【TV会議場：未 来創造ステーショ ン，日南市テクノ センター，エンシ ティホテル延岡】	脂質異常症のみかた（仮） たまきクリニック 院長 玉置 昇 ----- 認知症患者における連携について（仮） 野崎病院 認知症疾患医療センター センター長 宇田川 充隆	75 (0.5) 20 (0.5)	◇主催 宮崎県内科医会 ◇共催 宮崎県精神科医会 ※MSD(株) ☎0985-28-9496
第84回宮崎大学眼 科研究会 7月13日(土) 15:30~19:00 KITEN 参加費：2,000円	近視進行抑制の最先端 筑波大学 医学医療系眼科 講師 平岡 孝浩 ----- ガイドラインから考える明日からの緑内障診療 熊本大学 生命科学研究部眼科学分野 教授 井上 俊洋	36 (1.0) 36 (1.0)	◇主催 ※宮崎大学医学部眼科学教室 ☎0985-85-2806 ◇共催 千寿製薬(株)
宮崎県医師会産業 医研修会 7月17日(水) 14:00~16:00 県医師会館	職場で起こりやすい適応障害・うつ病 産業保健相談員 宮崎大学医学部 名誉教授 鶴 紀子 生涯研修の現地研修会：2単位	1 (0.5) 11 (0.5) 69 (0.5) 70 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
宮崎県医師会産業 医研修会 8月2日(金) 19:00~21:00 県医師会館	事例で学ぶ職場巡視のポイント 産業保健相談員 谷山 ゆかり 生涯研修の現地研修会：2単位	1 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 8月7日(水) 19:00~21:00 県医師会館	作業環境関連疾患（腰痛・VDT障害）の予防と悪化防止 産業保健相談員 宮崎県立看護大学 教授 江藤 敏治 生涯研修の専門研修会：2単位	11 (0.5) 12 (0.5) 37 (0.5) 60 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 8月21日(水) 19:00~21:00 県医師会館	今日のうつ病の理解と対応 産業保健相談員 中村クリニック 院長 中村 究 生涯研修の現地研修会：2単位	1 (0.5) 5 (0.5) 69 (0.5) 70 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 8月22日(木) 19:00~21:00 延岡市医師会病院	温熱環境等の労働衛生管理について 産業保健相談員 労働衛生コンサルタント 下津 義博 生涯研修の専門研修会：2単位	1 (0.5) 7 (0.5) 9 (0.5) 11 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
第2回宮崎慢性痛 治療セミナー 8月28日(水) 18:45~20:30 宮崎観光ホテル	痛みはどこからくるのか? - 神経から脳, そして心へ- 愛知医科大学医学部 学際的痛みセンター 特任教授 西原 真理	5 (0.5) 69 (0.5)	◇主催 宮崎慢性痛治療セミナー ◇共催 ※塩野義製薬(株) ☎0985-27-1041
宮崎県医師会産業 医研修会 8月29日(木) 19:00~21:00 県医師会館	職場における作業環境管理 産業保健相談員 宮崎大学医学部附属病院患者支援センター センター長 鈴木 斎王 生涯研修の専門研修会: 2単位	1 (0.5) 5 (0.5) 7 (0.5) 10 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

日本医師会生涯教育カリキュラム (2016)

カリキュラムコード (略称: CC)

1 医師のプロフェッショナルリズム	29 認知能の障害	57 外傷
2 医療倫理: 臨床倫理	30 頭痛	58 褥瘡
3 医療倫理: 研究倫理と生命倫理	31 めまい	59 背部痛
4 医師-患者関係とコミュニケーション	32 意識障害	60 腰痛
5 心理社会的アプローチ	33 失神	61 関節痛
6 医療制度と法律	34 言語障害	62 歩行障害
7 医療の質と安全	35 けいれん発作	63 四肢のしびれ
8 感染対策	36 視力障害, 視野狭窄	64 肉眼的血尿
9 医療情報	37 目の充血	65 排尿障害(尿失禁・排尿困難)
10 チーム医療	38 聴覚障害	66 乏尿・尿閉
11 予防と保健	39 鼻漏・鼻閉	67 多尿
12 地域医療	40 鼻出血	68 精神科領域の救急
13 医療と介護および福祉の連携	41 嘔声	69 不安
14 災害医療	42 胸痛	70 気分の障害(うつ)
15 臨床問題解決のプロセス	43 動悸	71 流・早産および満期産
16 ショック	44 心肺停止	72 成長・発達の障害
17 急性中毒	45 呼吸困難	73 慢性疾患・複合疾患の管理
18 全身倦怠感	46 咳・痰	74 高血圧症
19 身体機能の低下	47 誤嚥	75 脂質異常症
20 不眠	48 誤飲	76 糖尿病
21 食欲不振	49 嚥下困難	77 骨粗鬆症
22 体重減少・るい瘦	50 吐血・下血	78 脳血管障害後遺症
23 体重増加・肥満	51 嘔気・嘔吐	79 気管支喘息
24 浮腫	52 胸やけ	80 在宅医療
25 リンパ節腫脹	53 腹痛	81 終末期のケア
26 発疹	54 便通異常(下痢, 便秘)	82 生活習慣
27 黄疸	55 肛門・会陰部痛	83 相補・代替医療(漢方医療を含む)
28 発熱	56 熱傷	0 その他

5月のベストセラー（宮崎県）

集計：2019年5月1日～5月25日

1	そして、バトンは渡された	瀬 尾 まいこ	文 藝 春 秋
2	樹木希林120の遺言	樹 木 希 林	宝 島 社
3	蜜蜂と遠雷 [上]・[下]	恩 田 陸	幻 冬 舎
4	武士の賦	佐 伯 泰 英	文 藝 春 秋
5	一切なりゆき	樹 木 希 林	文 藝 春 秋
6	チーズはどこへ消えた	スペンサー・ジョンソン	扶 桑 社
7	ゼロトレ	石 村 友 見	サンマーク出版
8	樹木希林さんからの手紙	NHKクローズアップ現代	主 婦 の 友 社
9	医者が考案した「長生きみそ汁」	小 林 弘 幸	ア ス コ ム
10	続 昭和の怪物七つの謎	保 阪 正 康	講 談 社

明林堂書店調べ 提供：本郷店（宮崎市大字本郷北方）☎(0985)56-0868

お知らせ

クールビズについて

県医師会では、地球温暖化防止に向け、令和元年5月1日より同年10月31日までの間、県医師会館の冷房設定温度を上げ、常識的な判断による夏の軽装（クールビズ）の実践に取り組みます。

会議等の場合でも軽装（ノーネクタイ・半袖等）で結構です。地球温暖化防止のため、ご理解とご協力をお願いいたします。

診療メモ



トラベルクリニックの世界

いわさき小児科 いわ さき なお や
岩 崎 直 哉

はじめに

トラベルクリニックとは、トラベルメディスンを提供する医療機関です。それぞれ渡航外来、渡航医学と言い換えるとなんとなく理解できそうな気がしますが、実際のところ、何をしているのか想像できない人も多いと思います。

トラベルメディスンとは海外渡航者の健康維持を主な目的とする学問ですが、渡航先での感染症予防だけでなく、渡航の目的を円滑に達成する手段や情報へのアクセスの手助けでもあります。

トラベルメディスンの始まり

欧州では15世紀末から大航海時代を迎えましたが、行動範囲の拡大が進む中で、長期にわたる航海中の乗組員の体調不良は深刻な問題でした。さらに19世紀になると帝国主義のもとにアジアやアフリカで大規模な植民地経営が始まります。すると現地に滞在する自国民の健康維持に高い関心が寄せられるようになりました。とりわけ熱帯地域での感染症は脅威と認識され、熱帯医学の発祥や発展を促しました。

現在でも英国のロンドン大学内のLSHTM（ロンドン・スクール・オブ・ハイジーン・アンド・トロピカル・メディスン）は熱帯医学界でのリーダー的存在です。日本でも長崎大学に付属する熱帯医学研究所が優れた研究を行っています。

第二次世界大戦後になると、海外渡航はごく限られた人だけでなく大衆にとっても身近なものになりました。多くの一般人が海外渡航するようになり、渡航に関連した健康上のトラブルも増えましたが、当初は地域のホームドクターが対応していました。やがて感染症など専門的な知識が要求されるようになり、この分野に特化した診療科があらわれ、学問的な裏付けとしてトラベルメディスンが誕生します。

日本では、海外渡航の自由化が欧米に遅れたことと、予防医学に対する意識が異なることから最近になってようやくトラベルメディスンが認識されはじめた状況です。

日本人の海外渡航、海外在留邦人

日本政府観光局の発表によると2018年の年間日本人出国者数は約1,895万4,000人（推計値）となりました。海外での長期滞在者も増加傾向が続いています。外務省領事局の発表した「海外在留邦人数調査統計」によると、2017年10月1日での海外在留邦人は135万1,970人です。滞在先で永住権を獲得し生活の拠点を海外に移している「永住者」は48万4,150人、3か月以上滞在している（あるいは滞在する意思がある）「長期滞在者」は86万7,820人です。長崎県の人口が132万7,265人、佐賀県の人口が81万4,936人（いずれも平成31年4月1日の推計値）なので、常に海外で生活している日本人は

長崎県の県民ほどの規模で存在することになります。永住者を除いても佐賀県の人口ほどです。これは無視できない数字で、この人たちの健康維持のためには積極的な働きかけが必要と考えます。

トラベルクリニックの業務

トラベルクリニックの業務はpre-travelとpost-travelのふたつに大別されます。

前者は渡航前に予防医学的な立場から予防接種などの提案を行い、後者は渡航後の体調不良などに対応します。実際には渡航後の体調不良に対応するには相応の診療体制が必要なので、post-travelを対象としたトラベルクリニックは限られた施設のみが可能です。

pre-travelの業務としては、1) 健康相談や助言、2) 現地情報の提供、3) ワクチン接種、4) 予防薬の処方などがありますが、ビザの申請や留学の準備として5) 健康診断、6) 診断書の作成を行うことも業務の一部です。

トラベルクリニックを利用するなかでも一番多い目的は「ワクチン接種」ですが、トラベルクリニック側は、飲食物の注意点や昆虫が媒介する感染症の予防策、狂犬病対策など、健康維持のために大切な情報を提供します。これは渡航先によって異なります。

予防薬としては、例えばマラリアの流行地に滞在する予定がある場合、希望によってはマラリアの予防薬の準備をします。近年は「マチュピチュ」や「ウユニ塩湖」など標高の高いところにある観光地を訪れるケースも増えていますが、そのような方々に高山病予防薬を処方することもあります。

トラベルクリニック開設後の推移

当院は2015年4月の開院当初からトラベルクリニックを開設しています。最初の1年間で

は63名の方が175回トラベルクリニックを利用しました。以降、徐々に増加がみられ、2018年度は189名409回、開設以来の4年間では500名が1,072回利用しました。渡航の目的は出張や赴任など仕事に関わるものが最も多く、海外赴任する本人に帯同する家族も利用されます。社員やその家族を送り出す企業の方にも海外滞在中の健康管理を積極的に考える所が増えてきている印象です。

昨年度あたりから目立ってきた変化としては、個人旅行前の相談が増えてきたことが挙げられます。以前ヨーロッパの空港で行われた研究では、半数以上の旅行者が海外渡航前に医療関係者からの健康指導を受けていたことがわかっています。日本人の中にも旅行中の健康維持に関心を持つ人が増えてきたのかもしれませんが。

トラベルクリニックの展開

新たにトラベルクリニックを開設するために輸入ワクチンや予防薬を準備することはハードルが高いかもしれませんが、感染症の予防や持病がある人の渡航先での注意点などを公的な機関からの情報をもとに利用者に提供することは可能と思います。業務内容を限定すればトラベルクリニックのサービスは多くの医療機関で実践できます。

安全な海外渡航のためにトラベルクリニックがより浸透することを願います。

安全のための情報の収集

厚生労働省検疫所のホームページFORTH (<https://www.forth.go.jp/>) では、渡航先別での感染症などへの注意や推奨されるワクチンなどの情報を得ることができます。また、安全情報については外務省の「海外安全ホームページ」 (<https://www.anzen.mofa.go.jp/>) が参考になります。

宮大医学部学生のページ



令和元年度，新入生歓迎委員よりご報告

新入生歓迎委員会 委員長 医学科4年 佐 圓 海 渡

5月の訪れとともに、新元号「令和」元年が始まりました。今年度のGWは10連休であったこともあり、世間は少しばかりのお祭りムードを楽しんでいたことと思います。

そんな中、本年度も医学科110名、看護科63名の新入生が宮崎大学医学部へと入学しました。3月30日の在校生による新入生歓迎オリエンテーションを皮切りに、4月19日の東天閣での新入生歓迎コンパまで、例年通り大いに盛り上がる新歓となりました。手短ではありませんが、その中のいくつかをここでご紹介させていただきます。

3月30日に行われました新歓オリエンテーションは、在校生による部活紹介、新入生の自己紹介を中心としたオリエンテーションで、毎年、多くの新入生が参加するイベントです。本年度も約120名の新入生に参加してもらいました。オリエンテーションでは部活勧誘以外にも、昨年度卒業された先輩方からのリサイクル品が当選する抽選会があったり、在校生と一緒に昼食をとったりするなど、大いに盛り上がりました。次の写真はオリエンテーションのために装飾された黒板の前で、司会者5名で撮った写真です。



次に4月4日に行われましたBLS (Basic Life Support) 講習会についてです。これは宮崎大学救命救急センター主催の講習会となっており、在校生1名、医師・看護師各1名、新入生4名のグループでBLS講習を行うものです。新入生にとっては入学して医療と触れあう最初の機会であり、とても貴重な経験であったと思います。最初は少し恥ずかしさもあって、あまり大きな声で話せなかった人も、先生方から「本当に人が倒れていたらどうする？」という言葉を受けると、大きな声で周りに助けを呼ぶことができるようになっていきました。最後には全員がBLSを行うことができるようになり、充実した講習会となりました。

次に4月7日に行われました新歓BBQに

ついでです。このBBQは毎年行われており、本年度も焼肉いちりゅう様と宮崎ドライビングスクール様のご協賛をいただき、素晴らしい催しとなりました。このBBQにも約130名と、多くの新入生が参加しました。BBQには焼肉だけでなく、ジュースやカレー、綿菓子といったものまで提供していただきました。食事のあとは、宮崎にゆかりを持つ芸人として嫁恐竜さんによる漫才がありました。新入生、在校生ともに笑い声の絶えない時間となりました。そのあとは宮崎ドライビングスクール様より景品付きのゲームがあり、任天堂スイッチ、ミヤチクお食事券、プリンターなど沢山の景品が用意され、新入生も積極的にゲームに参加していました。また、当日は天気にも恵まれ、気持ちの良い1日となりました。次の写真はBBQの様子です。



ご紹介させていただいた行事以外にも、その他様々な部活がイベントを主催しており、新入生にとっては刺激的かつ少しばかり疲れもたまる1か月になったのではないかと思います。各イベント、講習会にご協力いただきました企業様、職員・先生方には厚くお礼申し上げます。

余談ではありますが、私たちも自分たちが新入生だった頃を思い出して、改めて先輩方に感謝の気持ちが芽生え、実のある新歓期間となりました。

以上、拙い文章となりましたが、新入生歓迎会実行委員会からのご報告とさせていただきます。これからも宮崎大学医学部は11月に学園祭を開催するなど、学生が様々な場面で皆様のお世話になることと思われれます。その際には是非、温かいご声援をいただけますと幸いです。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

お知らせ

県医師会から各郡市医師会へ送付しました文書についてご案内します。詳細につきましては、会員専用ページをご覧ください。所属郡市医師会へお問い合わせください。会員専用ページを見るためにはユーザ名、パスワードが必要です。県医師会学術広報課（TEL 0985-22-5118）にお問い合わせください。

またMMA通信（県医師会から会員への情報提供メーリングリスト）でも本文書について随時お知らせしていますので、まだご登録されていない会員はぜひご登録をお願いします。

送付日	文 書 名
4 月 8 日	<ul style="list-style-type: none"> 医療機関における外国人患者の受入れに係る実態調査結果について 「診療所における一般病床等の届出設置等に係る取扱要領の施行について」の一部改正等について 医療法施行規則の一部を改正する省令の施行等について（診療用放射線に係る安全管理体制等） 公知申請に係る事前評価が終了し、医薬品医療機器等法に基づく承認事項の一部変更承認がなされた医薬品の保険上の取扱いについて 医薬品医療機器等法上の効能・効果等の変更に伴う留意事項の一部改正等について 平成30年度日本医学会分科会への新規加盟について 経済センサスー基礎調査の実施について
4 月 9 日	<ul style="list-style-type: none"> 精神障害者地域生活支援広域調整等事業の実施について 社会医療法人等における訪日外国人診療に際しての経費の請求について 平成31年度「疼痛緩和のための医療用麻薬適正使用推進講習会～症例から適正使用を学ぶ～」の開催について 「肝炎治療特別促進事業の実務上の取扱いについて」の一部改正について 新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業実施要綱の一部改正について 抗IL-4受容体αサブユニット抗体製剤（デュビクセント皮下注）に係る最適使用推進ガイドラインの策定に伴う留意事項の一部改正について 医療用医薬品の販売情報提供活動に関するガイドラインに関するQ&Aについて（その2） 「医薬品の封の取扱い等について」に関する質疑応答集（Q&A）について リスデキサンプェタミンメシル酸塩製剤の使用に当たっての留意事項について 医薬品の効能、効果等における「ラロン症候群」の呼称の取扱いについて 検査料の点数の取扱いについて 平成31年度「宮崎県医療功労者知事表彰」候補者の推薦について 麻薬小売業者の役員の変更届出書等について 使用薬剤の薬価（薬価基準）の一部改正等について
4 月 10 日	<ul style="list-style-type: none"> 2019年10月介護報酬改定に関する告示のご案内について 風しんの追加的対策に係る「実施機関一覧表」の追加、変更、削除について 風しんの抗体検査及び風しんの第5期の定期接種に係る委託契約書について 新型インフルエンザ対策医療機関の情報取り扱いについて 新型インフルエンザ等対策に係る住民接種実施要領の策定について 民間衛生検査所におけるポリオウイルスに係る抗体価測定受託の中止について 受動喫煙対策における普及啓発ポスター等の送付について 「ウイルス性肝炎患者等の重症化予防推進事業の実施について」等の一部改正について 風しんの追加的対策に係る集合契約の締結について 「有料老人ホームを対象とした指導の強化について」の送付について 本年4月27日から5月6日までの10連休に伴う介護報酬等の請求等の取扱いについて 被爆者健康手帳の無効について 厚生局職員を装った不審電話と思われる事案について
4 月 11 日	<ul style="list-style-type: none"> 事業場における治療と職業生活の両立支援のためのガイドラインの改訂について セアカゴケグモ抗毒素について セファゾリンナトリウム注射用「日医工」が安定供給されるまでの対応について 医療機能情報提供制度実施要領の一部改訂及び医療機能情報提供制度の実施にあたっての留意事項の一部改正について
4 月 12 日	<ul style="list-style-type: none"> 医療分野の研究開発に資するための匿名加工医療情報に関する法律と個人情報の保護に関する条例との関係について 「医療法施行規則の一部を改正する省令」の公布等について 労働安全衛生規則の一部を改正する省令等の周知について 危機管理フォーラム2019の開催について 「医師の働き方改革に関する検討会報告書」について

送付日	文 書 名
4月16日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会医療法人の認定要件及び特定医療法人の承認要件の見直し等について ・ 「ヒトES細胞の樹立に関する指針」の全部改正について ・ 「2019年度歯と口の健康週間」について ・ 医療事故情報収集等事業第56回報告書の公表について ・ 「医療法施行規則の一部を改正する省令の施行等について」及び「病院又は診療所における診療用放射線の取扱いについて」の正誤表の送付について ・ 「医療法施行規則の一部を改正する省令」の公布等について ・ 第31回日本医師会主催「指導医のための教育ワークショップ」(2019年7月13日～14日)の開催について ・ 医療法及び医師法の一部を改正する法律の施行について ・ 医療機能情報提供制度実施要領の一部改正について
4月17日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 風しんの追加的対策に係る請求総括書等について ・ 技能実習制度および在留資格「特定技能」に関する基準等について ・ 介護施設整備に係る国有地の有効活用等について ・ 児童福祉法施行令及び地方自治法施行令の一部を改正する政令等の公布について ・ 「「認知症施策等総合支援事業の実施について」の一部改正について」の送付について ・ 令和元年度「世界禁煙デー」及び「禁煙週間」について
4月18日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校における働き方改革に関する取組の徹底について ・ 令和元年度 第50回全国学校保健・学校医大会の開催について ・ 外部監査の対象となる医療法人における内部統制の構築について ・ 厚生労働省が行う「要介護被保険者等に対する維持期・生活期リハビリテーションの介護保険への移行状況調査」について ・ 各がん検診実施機関等登録（指定）名簿について
4月19日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消費税引上げに伴う福祉用具貸与価格の上限等の取扱いについて ・ 過重労働による健康障害防止のための総合対策の改正について
4月22日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域における医療提供体制の確保に資する設備の特別償却制度について ・ 日本医師会会費減免の手続き及び会費減免を受けるA①、A②（B）、A②（C）会員の医賠償保険加入の手続きについて ・ 平成31年度日本医師会会費徴収について ・ 日本医師会会費の出産育児減免について
4月23日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 産業医契約書（参考例）について ・ NBCR対策推進機構 第1回「放射線テロ・災害及び核テロ・核災害対策担当者養成講習会」の開催について ・ 介護職員等特定処遇改善加算に関する基本的考え方等および「2019年度介護報酬改定に関するQ & A（Vol.1）（平成31年4月12日）」について ・ 救急隊の感染防止対策の推進への協力について ・ 移植希望者（レシピエント）選択基準の一部改正について ・ 医療安全地域連携シートについて ・ 「「再生医療等の安全性の確保等に関する法律」, 「再生医療等の安全性の確保等に関する法律施行令」及び「再生医療等の安全性の確保等に関する法律施行規則」の取扱いについて」の一部改正について ・ 「外国人患者を受け入れる拠点的な医療機関」の選出及び受入体制に係る情報の取りまとめについて
4月24日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 改元に伴う保険医療事務の取扱いについて ・ 旧優生保護法一時金支給法施行に当たっての厚生労働省から医療機関への協力依頼事項について
4月26日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療事故情報収集等事業第55・56回報告書の送付について ・ 2019年4月27日(土)から2019年5月6日(月)までにおける臨床研究法に基づく疾病等報告並びに緊急連絡先等について ・ 麻しんに関する特定感染症予防指針の一部改正について ・ 2019年度インフルエンザHAワクチン製造株の決定について ・ 平成31年度介護支援専門員実務研修受講試験の実施について


 あとがき


令和元年、明けましておめでとうございます。早々に震度5弱という過去遭遇したなかで最大級の地震があり、肝を冷やしました。毎年のようにどこかで大災害が起こっており、これからも大過なきことを強く願います。個人的にはあと2回以上、改元にたちあえるよう健康に気をつけて日々を過ごしていきたいと思います。GWに5歳の娘と「映画クレヨンしんちゃん、

を見に行きました。子供の教育上、賛否両論あるアニメですが、家族愛をストレートに描いた「泣ける話、も多くあり、我が家では定番のアニメとなっています。娘は今年映画館デビューでしたので、暗くなると不安がるのではないかと心配しましたが、映画が始まるとすぐに大声で笑ったり、キャラクターの真似をしたりしてストーリーに入り込んでいる様子でした。クライマックスの感動的なシーンでは大粒の涙を流して号泣する娘を見て、その成長ぶりと心根の優しさ（親バカ？）に感動し、自分ももらい泣きしてしまいました。働き方改革とは無縁の当院は、例年通りの休みでスーパーGWとはいきませんでした。志布志のイルカランドに行ったり、友人家族と温泉に泊まって太刀魚釣りをしたりと、近場ばかりでしたが家族で休みを堪能することができ、思い出に残るGWとなりました。米中問題、EU問題、北朝鮮問題、株安など世界情勢は不安定、国内も問題山積のようですが、令和が平和で希望に満ちた幸せな時代となりますように。

(稲倉)

日々の生活にも新しいルールが必要になることがあります。我が家も時々、「これからはこうしよう」と何かしら決めることがあります。家内は守ってくれません。「習慣にないから忘れる」と言われます。「そんなんじゃ働けないよ」と話していた頃、働き方改革の影響で、当院でも医師にタイムカードが導入されました。導入して1か月が過ぎましたが、タイムカードを押す習慣がなかったので今でも押し忘れる自分があります。…まず家内に謝りました。

(沖田)

死後離婚という制度はご存知でしょうか？ 少子高齢・核家族化の影響か、この10年で死後離婚件数が約3倍に増加しているとのこと。義理の両親の介護問題や、相手方の親族との金銭問題の解消が主な理由とのこと。今後、高齢割合の増加が避けられない日本において、死後離婚を希望するケースがますます増えてくるでしょう。そのほかにも、超高齢化社会を迎えると、予期せぬ問題が発生しそうです。

(植田)

今年度から広報委員となりました。医学科4年の河野真菜です。GWに春の九州・山口医科学生体育大会がありました。軟式テニス部のキャプテンとして最後の試合で、団体戦優勝という結果を残すことができました。みんなと一致団結して試合ができ、とても楽しくいい思い出となりました。最近ではテニスばかりしていたので、これからは試験に向けて勉強も、広報委員としても精一杯頑張っていきたいと思えます。はじめてのことでご迷惑をおかけすることもあると思いますが、これからよろしくお願ひします。

(河野(真))

皆さんはクレームを受けた時、どのような言葉を使っているだろうか？ 「だから」、「ですから」、「だって」、「でも」といったD行で始まるD言葉。D言葉はトゲがあり、余計に相手の気持ちをあおるようだ。一方、「失礼しました」、「すみません」、「承知しました」といったS行で始まるS言葉。S言葉は相手の気持ちを静める作用があるとのこと。一度言ったら取り消せない「言葉」。相手との関係性をよくするために気をつけたいものだ。

(山崎)

平成から令和となった瞬間は、「シャザム」という、笑いあり感動ありのアメコミ映画を観た帰り道でした。アメコミといえば、世界歴代興行収入ランキングで1位にもうすぐ届きそうな「アベンジャーズ/エンドゲーム」が話題です。このシリーズは関連作品数が多いので敬遠していましたが、過去作を観てみると非常に面白く、映画館で観ていなかったのを後悔しました。令和は、食わず嫌いをする前に足を踏み入れることを心がけようと思った次第です。エンドゲームは本当におすすめです。皆様ぜひ。

(伊澤)

4年に1度開催される日本医学会総会に出席しました。今回は4月下旬に名古屋市で開催されました。再生医療、遺伝子治療といった先端医療から、地域医療、介護、保険制度といった身近な分野まで、それぞれを代表する先生方が分かりやすく講演しました。また、山中伸弥京都大学教授、本庶佑京都大学名誉教授、天野浩名古屋大学教授といったノーベル受賞者の講演もあり、あらためて質の高い学会であることを認識しました。医学生の参加は無料で、中部地方の多くの医学生が来場していたのが印象的でした。

(佐々木)

今月のトピックス

メディアの目 お医者任せにしない

81歳でロシア料理店を経営している女性。その道一筋で長く頑張ってきた方の含蓄に富む言葉がいくつも出てきます。すべてをお医者任せにはしない。「グルメ探訪」(随時受付中!)ではありませんが、これを参考に今度食べに行ってみようと思います。 12ページ

診療メモ トラベルクリニックの世界

海外に修学旅行に行く学生さんから処方薬などの証明書を英文で求められることが結構あります。いわさき小児科の岩崎直哉先生にトラベルクリニックとしての多岐にわたる仕事内容を示していただきました。 58ページ

宮大医学部学生のページ 令和元年度、新入生歓迎委員よりご報告

平成元年入学の私の新歓は「日向ハイッ」と「四海楼」で、古い記憶だからか? アルコールのせいなのか? 一部記憶にありません。今どきのスマートな新歓事情を書いていただき、令和元年入学組がスムーズに学生生活に入っていけるよう先輩方が頑張っていることが伝わってきました。新臨床研修医の「新歓」の件も16ページに掲載されています。こちらもご一読下さい。 60ページ

日 州 医 事 第838号(令和元年6月号)(毎月1回10日発行)

発行人 公益社団法人 宮 崎 県 医 師 会 会長 河野 雅行
〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 TEL 0985-22-5118(代)・FAX 27-6550
<http://www.miyazaki.med.or.jp/> E-mail:office@miyazaki.med.or.jp

編 集 宮崎県医師会広報委員会

委 員 長 西田 隆昭・副委員長 稲倉 琢也, 野村 勝政
委 員 沖田 和久, 山崎 俊輔, 上山 貴子, 植田 雄一
学 生 委 員 伊澤 和範, 土持 友香, 河野 太地, 河野 真菜
担当副会長 山村 善教・担当理事 荒木 早苗, 佐々木 究
事 務 局 学術広報課 本崎 礼子, 牧野 諭

印刷所 有限会社 中川印刷・落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。

定 価 350円(但し, 県医師会員の購読料は会費に含めて徴収してあります)